

科目名	作編曲法Beginners(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤井文司
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音楽業界(J-POP)での多くのヒット曲と、プロデュース/アレンジの実績を持つ。						
授業の学習 内容	音楽理論を理解し、それぞれの理論に照らし合わせてたコード進行を構築しながらメロディーやアレンジの作成を行う。						
到達目標	音楽理論と作、編曲の関係を理解し楽曲制作時のスピードアップを測る。ファンデーション授業の理解をさらに深め、楽曲制作に活かせるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	編曲法の基本	編曲法の基本 振り返りと自習。
2		講義・演習	ドラムパートのアレンジ	ドラムパートのアレンジ 振り返りと自習。
3		講義・演習	ドラムパートのアレンジ課題の演習	ドラムパートのアレンジ課題の演習 振り返りと自習。
4		講義・演習	ベースパートのアレンジ	ベースパートのアレンジ 振り返りと自習。
5		講義・演習	ベースパートのアレンジ課題の演習	ベースパートのアレンジ課題の演習 振り返りと自習。
6		講義・演習	コードの組み立と転回形について	コードの組み立と転回形について 振り返りと自習。
7		講義・演習	コードの組み立と転回形課題の演習	コードの組み立と転回形課題の演習 振り返りと自習。
8		講義・演習	キーボードパートのアレンジ	キーボードパートのアレンジ 振り返りと自習。
9		講義・演習	キーボードパートの課題の演習	キーボードパートの課題の演習 振り返りと自習。
10		講義・演習	スケール1メジャー	スケール1メジャー 振り返りと自習。
11		講義・演習	スケール2マイナー	スケール2マイナー 振り返りと自習。
12		講義・演習	アレンジリズムパート課題1	データの管理とポートフォリオ作成
13		講義・演習	アレンジインストゥルメント課題2	データの管理とポートフォリオ作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	作編曲法Beginners(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	藤井文司
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音楽業界(J-POP)での多くのヒット曲と、プロデュース/アレンジの実績を持つ。						
授業の学習 内容	音楽理論を理解し、それぞれの理論に照らし合わせてたコード進行を構築しながらメロディーやアレンジの作成を行う。						
到達目標	音楽理論と作、編曲の関係を理解し楽曲制作時のスピードアップを測る。ファンデーション授業の理解をさらに深め、楽曲制作に活かせるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ダイアトニックコードについて	ダイアトニックコードについて振り返りと自習。
2		講義・演習	モチーフとモチーフデベロップメントについて	モチーフとモチーフデベロップメントについて振り返りと自習。
3		講義・演習	ダイアトニックコードとメロディについて	ダイアトニックコードとメロディについて振り返りと自習。
4		講義・演習	ケーデンスについてについて	ケーデンスについてについて振り返りと自習。
5		講義・演習	ダイアトニックリハモニゼーションについて	ダイアトニックリハモニゼーションについて振り返りと自習。
6		講義・演習	セカンダリードミナントについて	セカンダリードミナントについて振り返りと自習。
7		講義・演習	エクステンデッドミナントについて	エクステンデッドミナントについて振り返りと自習。
8		講義・演習	サブファイブセブンについて	サブファイブセブンについて振り返りと自習。
9		講義・演習	その他のダイアトニックローレティッドについて	その他のダイアトニックローレティッドについて振り返りと自習。
10		講義・演習	マイナーキーハーモニーについて	マイナーキーハーモニーについて振り返りと自習。
11		講義・演習	ディミニッシュ7コードについて	ディミニッシュ7コードについて振り返りと自習。
12		講義・演習	アヴェイラブルノートスケールについて	アヴェイラブルノートスケールについて振り返りと自習。
13		講義・演習	課題曲提出	データの管理とポートフォリオ作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM (1) (DTM Basic (1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井伸昂 高橋涼
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	石井:2012年よりアイドル、アニメ主題歌など、数多く楽曲提供をしている 高橋: 有限会社SUPA LOVE所属。アイドルなどに数多く楽曲提供をしている						
授業の学習 内容	①プロ作曲家/プロデューサーに必要なPC知識・DAW操作・DTM全般の基礎知識を理解する ③「創造を形にできる技術・知識を持って0から1の楽しさを実感してほしい」						
到達目標	Logic Proの基礎を理解し、打ち込み、レコーディングを用いて作曲の基礎が出来るようになる。						
評価方法と基準	試験に行う指定楽曲の耳コピ制作=60%、授業評価(出席率込み)=40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	①Mac&Windows説明、Mac立ち上げ サウンド設定、様々なDAW説明、自宅制作について ②他者に説明できる	用語や操作の復習
2		講義・演習	①Logicの立ち上げ、プロジェクトの設定、 トラックの作り方基礎名称の説明、作曲 ②他者に説明できる	用語や操作の復習
3		講義・演習	①DAW上でのドラムの打ち込み、 MIDIキーボードを使ったステップ入力 ②他者に説明できる	ドラムの打ち込み練習
4		講義・演習	前回の授業の復習・実習	ドラムの打ち込み練習
5		講義・演習	①DAW上での音符の見え方、ディビジョンの理解 ②他者に説明できる	ピアノロール等のDTMに必要な知識学習
6		講義・演習	前回の授業の復習・実習	ピアノロール等のDTMに必要な知識学習
7		講義・演習	①DAW上でのコードの仕組み、 ディグリーネームやコードネーム ②他者に説明できる	DAW上での和音や進行の学習
8		講義・演習	前回の授業の復習・実習	DAW上での和音や進行の学習
9		講義・演習	①メロディの種類・コードの当て方楽曲構成の考え方 ②他者に説明できる	メロディや構成の学習
10		講義・演習	前回の授業の復習・実習	メロディや構成の学習
11		講義・演習	①基礎的な楽曲の耳コピ ②簡単なコード譜の作成	DAWによる耳コピによる学習
12		講義・演習	テスト	課題楽曲の耳コピをする学習
13		講義・演習	長期休み明けの活動報告・学習	作曲段階のデモを制作
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			いろんな音楽にふれあい作曲の基礎が身につく環境にいること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM (1) (DTM Advance (1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	横野康平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上現役でJ-pop K-pop ライブ制作や映像音楽の作曲編曲活動を行なっている。						
授業の学習 内容	既存曲から講師が仕事で役に立ちそうな実践的なDTMテクニックを抜粋し、配布された教材を使い各自真似をしてサウンドデザインや打ち込みのテクニックを習得する。						
到達目標	題材のジャンルや楽曲制作テクニックを学び自身のオリジナル作品に反映させる。						
評価方法と基準	実技試験 50% 筆記試験 0% 課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	各DAW Strings Expression,Articulationの入力方法とコツを習得	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
2		講義・演習	Dance Pop曲を使ってオートメーションを使えるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
3		講義・演習	トロピカルハウスの作り方を習得	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
4		講義・演習	HIPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
5		講義・演習	LofiBeatのサウンドデザインを学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
6		講義・演習	vocal素材を使ってVocalCutUpの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
7		講義・演習	Dolphinボイスの作り方を学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
8		講義・演習	生楽器とシンセのレイヤーを使えるようになる	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
9		講義・演習	FutureBassの作り方 (シンセサイザー編)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
10		講義・演習	FutureBassの作り方 (生楽器編)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
11		講義・演習	Dubstep (GlowlBass) の作り方	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
12		講義・演習	Dubstep (ColourBass) の作り方	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
13		講義・演習	1コーラスラフデモ制作テスト	配布データなどを使って制作アイデアを用意しておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			いろんな音楽にふれあい作曲の基礎が身につく環境にいること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM (2) (DTM Basic (2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	石井伸昂 高橋涼
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	石井:2012年よりアイドル、アニメ主題歌など、数多く楽曲提供をしている 高橋: 有限会社SUPA LOVE所属。アイドルなどに数多く楽曲提供をしている						
授業の学習 内容	①プロ作曲家/プロデューサーに必要なPC知識・DAW操作・DTM全般の基礎知識を理解する ③「創造を形にできる技術・知識を持って0から1の楽しさを実感してほしい」						
到達目標	Logic Proの基礎を理解し、打ち込み、レコーディングを用いて作曲の基礎が出来るようになる。						
評価方法と基準	1年を通して学んだ成果物の提出=60%、授業評価(出席率込み)=40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	①Logic付属音源以外の音源を使用する 機材の定番を知る・編曲とは ②他者に説明できる	用語や操作の復習
2		講義・演習	①編曲における各楽器の役割(生楽器) ②他者に説明できる	用語や操作の復習
3		講義・演習	前回の授業の復習・実習	用語や操作の復習
4		講義・演習	①シンセサイザー基礎②他者に説明できる	編曲に必要な知識
5		講義・演習	①シンセサイザー応用 ②他者に説明できる	編曲に必要な知識
6		講義・演習	①ボーカル録音の学習②他者に説明できる	編曲に必要な知識
7		講義・演習	①ボーカル録音の実習 ②実務において使用できる	編曲に必要な知識
8		講義・演習	①オーディオ編集の学習②他者に説明できる	編曲に必要な知識
9		講義・演習	①オーディオ編集の実習 ②実務において使用できる	編曲に必要な知識
10		講義・演習	①ボリュームの学習②他者に説明できる	編曲に必要な知識
11		講義・演習	①プラグイン EQの学習 ②他者に説明できる	編曲に必要な知識
12		講義・演習	①プラグイン コンプの学習②他者に説明できる	編曲に必要な知識
13		講義・演習	テスト	テスト
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			DTMについて理解する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM (2) (DTM Advance (2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	横野康平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上現役でJ-pop K-pop ライブ制作や映像音楽の作曲編曲活動を行なっている。						
授業の学習 内容	既存曲から講師が仕事で役に立ちそうな実践的なDTMテクニックを抜粋し、配布された教材を使い各自真似をしてサウンドデザインや打ち込みのテクニックを習得する。						
到達目標	題材のジャンルや楽曲制作テクニックを学び自身のオリジナル作品に反映させる。						
評価方法と基準	実技試験 50% 筆記試験 0% 課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Electroswingの作り方を習得する。1	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
2		講義・演習	Electroswingの作り方を習得する。2	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
3		講義・演習	2Stepの作り方を学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
4		講義・演習	ガールズクラッシュ楽曲を用いて力強いPopsを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
5		講義・演習	SlapBassやエレビがカウンターに入ってくFutureBass楽曲を用いてダンスブレイクの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
6		講義・演習	アラビックスケールなどを用いてEDM調のTrapを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
7		講義・演習	KpopDeepHouseの作り方を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
8		講義・演習	NewJackSwing曲を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
9		講義・演習	音ゲーに使われているトランス曲を使って早いフレーズを学び作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
10		講義・演習	スクリーチシンセの作り方を習得する。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
11		講義・演習	FMシンセを使って簡単なBassHouseを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
12		講義・演習	FMシンセを使ってSkrillexのようなサウンドを出せるようになる。(Supersonic)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
13		講義・演習	1コーラスラフデモ制作テスト	配布データなどを使って制作アイディアを用意
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			いろんな音楽にふれあい作曲の基礎が身につく環境にいること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP A (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	JIYEON
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2011年よりダンサーとして活躍。K-POP Danceの海外公演にも参加し、日本ではアイドルの振り付けやダンス指導を担当。						
授業の学習 内容	基本的なダンスに必要なストレッチ、アイソレーション、筋カトレーニングそしてK-POPのカバーダンス(課題の曲に関しては前週のレッスンまでに発表)						
到達目標	授業内で振付が理解出来ている。1人でも堂々と複数の前で踊り、表現が出来る。						
評価方法と基準	課題の振り付けがしっかり覚えられている。ただ振付を覚えるだけではなく曲の雰囲気や歌詞などを理解して目を引くパフォーマンスが出来ているかどうか。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→OMG/New Jeans サビ部分
2		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→OMG/New Jeans イントロ～サビ前
3		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Say my name/BOYS PLANET サビ部分
4		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Say my name/BOYS PLANET イントロ～サビ前
5		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Love me like this/NMIXX サビ部分
6		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Love me like this/NMIXX イントロ～サビ前
7		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
8		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
9		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
10		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
11		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
12		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
13		講義・演習	試験	試験で踊る曲の練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP A (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	JIYEON
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2011年よりダンサーとして活躍。K-POP Danceの海外公演にも参加し、日本ではアイドルの振り付けやダンス指導を担当。						
授業の学習 内容	基本的なダンスに必要なストレッチ、アイソレーション、筋カトレーニングそしてK-POPのカバーダンス(課題の曲に関しては前週のレッスンまでに発表)						
到達目標	授業内で振付が理解出来ている。1人でも堂々と複数の前で踊り、表現が出来る。						
評価方法と基準	課題の振り付けがしっかり覚えられている。ただ振付を覚えるだけではなく曲の雰囲気や歌詞などを理解して目を引くパフォーマンスが出来ているかどうか。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
2		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
3		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
4		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
5		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
6		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
7		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
8		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
9		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
10		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
11		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
12		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
13		講義・演習	試験	試験で踊る曲の練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance for singer(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	YU JURRY
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上、振付師・ダンサーとして活動。BTS,KESHA,w-inds.,MIYAVI,山下智久,KAT-TUN,西内まりや,AKB48等多くのアーティストと共演。						
授業の学習 内容	①歌を歌う時のリズム感を養う ②音楽が関連してくる時全般 ③ただ歌うだけでなく見てる人の目も楽しませられるようになる ④基本的にリズムトレーニングが中心						
到達目標	音の取り方を自在に操り音遊びが出来るようになる						
評価方法と基準	実技による採点と授業出席率の平常点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	業界の仕事をするということ。授業を受けるうえでの心構えを学ぶ。	業界について調べ、レポート作成
2		講義・演習	筋トレストレッチによる体づくり	授業内容を復習、自主練習を行うこと
3		講義・演習	アイソレーションなどの基礎	授業内容を復習、自主練習を行うこと
4		講義・演習	基礎的な体の動かし方	授業内容を復習、自主練習を行うこと
5		講義・演習	基礎的なリズムトレーニング	授業内容を復習、自主練習を行うこと
6		講義・演習	複合的なリズムトレーニング	授業内容を復習、自主練習を行うこと
7		講義・演習	簡単な振付	授業内容を復習、自主練習を行うこと
8		講義・演習	簡単な振付にリズム感を入れる	授業内容を復習、自主練習を行うこと
9		講義・演習	全体のリズムを合わせるトレーニング	授業内容を復習、自主練習を行うこと
10		講義・演習	バリエーションを増やした振付	授業内容を復習、自主練習を行うこと
11		講義・演習	前週のトレーニング	授業内容を復習、自主練習を行うこと
12		講義・演習	振付テストを実施	授業内容を復習、自主練習を行うこと
13		講義・演習	テストのフィードバック	授業内容を復習、自主練習を行うこと
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance for singer(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	YU JURRY
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上、振付師・ダンサーとして活動。BTS,KESHA,w-inds.,MIYAVI,山下智久,KAT-TUN,西内まりや,AKB48等多くのアーティストと共演。						
授業の学習 内容	①歌を歌う時のリズム感を養う ②音楽が関連してくる時全般 ③ただ歌うだけでなく見てる人の目も楽しませられるようになる ④基本的にリズムトレーニングが中心						
到達目標	音の取り方を自在に操り音遊びが出来るようになる						
評価方法と基準	実技による採点と授業出席率の平常点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期で行った事を思い出し、簡単な振付	授業内容を復習、自主練習を行うこと
2		講義・演習	音に合わせて振付となれるものをする	授業内容を復習、自主練習を行うこと
3		講義・演習	前週の振り返り	授業内容を復習、自主練習を行うこと
4		講義・演習	基礎的なリズムトレーニング	授業内容を復習、自主練習を行うこと
5		講義・演習	複合的なリズムトレーニング	授業内容を復習、自主練習を行うこと
6		講義・演習	少し難しくした振付	授業内容を復習、自主練習を行うこと
7		講義・演習	前週の振付にリズム感を入れる	授業内容を復習、自主練習を行うこと
8		講義・演習	全体のリズムを合わせるトレーニング	授業内容を復習、自主練習を行うこと
9		講義・演習	バリエーションを増やした振付	授業内容を復習、自主練習を行うこと
10		講義・演習	チームで振付を考える①	授業内容を復習、自主練習を行うこと
11		講義・演習	チームで振付を考える②	授業内容を復習、自主練習を行うこと
12		講義・演習	振付テストを実施	授業内容を復習、自主練習を行うこと
13		講義・演習	テストのフィードバック	授業内容を復習、自主練習を行うこと
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスBasic 1 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神山 清豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2010年よりDJスクールを開校、東京全土に次世代のアーティストを多数輩出。また世界最大のダンスミュージックレーベル“Spinnin’ Records”傘下“Oliver Heldens”のHELDEEPより日本人で初めての楽曲リリースを実現させている。						
授業の学習 内容	DJのパフォーマンス技術を習得する為に、最新のソフトウェアや機材の操作の理解、楽曲の理解およびセレクト、スクラッチ技術などを学習する。						
到達目標	DJとしてイベントに出演、ステージパフォーマンスの経験を積む。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	個人面談 目標や方向性に合わせた指導プラン構築のため、カウンセリングを兼ねた面談を実施。	
2		講義・演習	・VINYLMモードとCDJモードについて ・CUEポイントの作り方(頭出しの仕方)、BPMの説明、フェードイン、フェードアウト、カットイン、カットアウトなど初歩的な技術を使って機材に慣れる	時間外学習として復習90分取り組む
3		講義・演習	曲と曲を正確に合わせる② サンプルCDを使って、キック、BPM、ビッチを正確に合わせる	時間外学習として復習90分取り組む
4		講義・演習	曲と曲を正確に合わせる④ サンプルCDを使って、キック、BPM、ビッチを正確に合わせる	時間外学習として復習90分取り組む
5		講義・演習	MIXの準備① 1ミキサーのチャンネル、レベルメーター、トリム、EQの説明。2Master Tempo(BPMの計算方法)。3フェーダーのみでMIX。4Lowカットを使ってMIX。5Highカットを使ってMIX	時間外学習として復習90分取り組む
6		講義・演習	1ミキサーのチャンネル、レベルメーター、トリム、EQの説明。2Master Tempo(BPMの計算方法)。3フェーダーのみでMIX。4Lowカットを使ってMIX。5Highカットを使ってMIX	時間外学習として復習90分取り組む
7		講義・演習	【前期中間テスト】 30分セットを作る実践	時間外学習として復習90分取り組む
8		講義・演習	30分セットを作る Season2 ② A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
9		講義・演習	30分セットを作る Season3 ② A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
10		講義・演習	RECORDERの使い方① ・CD,USB,PCDJとの違いについて。RekordBoxを使うメリットについて 4メディアマネジメント。5インポート(解析)が終わった楽曲。6iTunesと連携したSync Manager	時間外学習として復習90分取り組む
11		講義・演習	DJの歴史について	時間外学習として復習90分取り組む
12		講義・演習	60分セットを作る② A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
13		講義・演習	60分セットを作る④ A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスBasic 1 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神山 清豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2010年よりDJスクールを開校、東京全土に次世代のアーティストを多数輩出。また世界最大のダンスミュージックレーベル“Spinnin’ Records”傘下“Oliver Heldens”のHELDEEPより日本人で初めての楽曲リリースを実現させている。						
授業の学習 内容	DJのパフォーマンス技術を習得する為に、最新のソフトウェアや機材の操作の理解、楽曲の理解およびセレクト、スクラッチ技術などを学習する。						
到達目標	DJとしてイベントに出演、ステージパフォーマンスの経験を積む。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	楽曲の入手方法 代表的なダウンロードサイト(DJ City)より入手する。 楽曲の管理について ・音楽ファイルの種類の説明 ・BPM ・ビートレート	時間外学習として復習90分取り組む
2		講義・演習	曲と曲を正確に合わせる① サンプルCDを使って、キック、BPM、ピッチを正確に合わせる	時間外学習として復習90分取り組む
3		講義・演習	曲と曲を正確に合わせる③ サンプルCDを使って、キック、BPM、ピッチを正確に合わせる	時間外学習として復習90分取り組む
4		講義・演習	曲の構成についての説明 ・講師がカテゴライズした楽曲から生徒がセレクト ・つなぐポイントを理論的に説明(小節、尺など) サンプルCDからジャンルごとに10曲セレクト	時間外学習として別ジャンルより10曲追加セレクト
5		講義・演習	MIX講習② 1ミキサーのチャンネル、レベルメーター、トリム、EQの説明。2Master Tempo(BPMの計算方法)。3フェーダーのみでMIX。4Lowカットを使ってMIX。5Highカットを使ってMIX	時間外学習として復習90分取り組む
6		講義・演習	30分セットを作る Season1 A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
7		講義・演習	30分セットを作る Season2 ① A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
8		講義・演習	30分セットを作る Season3 ① A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
9		講義・演習	RecordBox講習 ① ・CD USB PCDJとの違いについて。RekordBoxを使うメリットについて 1ファイルマネジメント。2最初のセットアップ(各種モードの説明)。3プレイリストの作成	時間外学習として復習90分取り組む
10		講義・演習	トライアルレッスン	時間外学習として復習90分取り組む
11		講義・演習	60分セットを作る① A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
12		講義・演習	60分セットを作る③ A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
13		講義・演習	Back to Backについて ・共同プレイおよびパフォーマンスにおけるシステムの理解と実践。	時間外学習として復習90分取り組む
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスBasic 2 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神山 清豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部ー	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2010年よりDJスクールを開校、東京全土に次世代のアーティストを多数輩出。また世界最大のダンスミュージックレーベル“Spinnin’ Records”傘下“Oliver Heldens”のHELDEEPより日本人で初めての楽曲リリースを実現させている。						
授業の学習 内容	DJのパフォーマンス技術を習得する為に、最新のソフトウェアや機材の操作の理解、楽曲の理解およびセレクト、スクラッチ技術などを学習する。						
到達目標	DJとしてイベントに出演、ステージパフォーマンスの経験を積む。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験：100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	個人面談 目標や方向性に合わせた指導プラン構築のため、カウンセリングを兼ねた面談を実施。	
2		講義・演習	機材に慣れる ・VINYLモードとCDJモードについて ・CUEポイントの作り方(頭出しの仕方)、BPMの説明、フェードイン、フェードアウト、カットイン、カットアウトなど初歩的な技術を使って機材に慣れる。	時間外学習として復習90分取り組む
3		講義・演習	曲と曲を正確に合わせる② サンプルCDを使って、キック、BPM、ピッチを正確に合わせる	時間外学習として復習90分取り組む
4		講義・演習	曲と曲を正確に合わせる④ サンプルCDを使って、キック、BPM、ピッチを正確に合わせる	時間外学習として復習90分取り組む
5		講義・演習	MIX演習① 1ミキサーのチャンネル、レベルメーター、トリム、EQの説明。2Master Tempo(BPMの計算方法)。3フェーダーのみでMIX。4Lowカットを使ってMIX。5Highカットを使ってMIX	時間外学習として復習90分取り組む
6		講義・演習	MIX演習② 1ミキサーのチャンネル、レベルメーター、トリム、EQの説明。2Master Tempo(BPMの計算方法)。3フェーダーのみでMIX。4Lowカットを使ってMIX。5Highカットを使ってMIX	時間外学習として復習90分取り組む
7		講義・演習	【前期中間テスト】 30分セットを作る実践	時間外学習として復習90分取り組む
8		講義・演習	30分セットを作る Season2 ② A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
9		講義・演習	30分セットを作る Season3 ② A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
10		講義・演習	Recorabon演習 ④ CD USB PCDJとの違いについて。RekordBoxを使うメリットについて 4メディアマネージメント。5インポート(解析)が終わった楽曲。6iTunesと連携したSync Manager	時間外学習として復習90分取り組む
11		講義・演習	DJの歴史について	時間外学習として復習90分取り組む
12		講義・演習	60分セットを作る② A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
13		講義・演習	60分セットを作る④ A MIXポイントを学びながらセットを作る。。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスBasic 2 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	神山 清豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2010年よりDJスクールを開校、東京全土に次世代のアーティストを多数輩出。また世界最大のダンスミュージックレーベル“Spinnin’ Records”傘下“Oliver Heldens”のHELDEEPより日本人で初めての楽曲リリースを実現させている。						
授業の学習 内容	DJのパフォーマンス技術を習得する為に、最新のソフトウェアや機材の操作の理解、楽曲の理解およびセレクト、スクラッチ技術などを学習する。						
到達目標	DJとしてイベントに出演、ステージパフォーマンスの経験を積む。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	楽譜の入手方法 代表的なダウンロードサイト(DJ City)より入手する。 楽曲の管理について ・音楽ファイルの種類の説明 ・BPM ・ビットレート	時間外学習として復習90分取り組む
2		講義・演習	曲と曲を正確に合わせる① サンプルCDを使って、キック、BPM、ビッチを正確に合わせる	時間外学習として復習90分取り組む
3		講義・演習	曲と曲を正確に合わせる③ サンプルCDを使って、キック、BPM、ビッチを正確に合わせる	時間外学習として復習90分取り組む
4		講義・演習	曲の構成についての説明 講師がカテゴライズした楽曲から生徒がセレクト。つなぐポイントを理論的に説明(小節、尺など)。サンプルCDからジャンルごとに10曲セレクト	時間外学習として復習90分取り組む
5		講義・演習	MIX講習② 1ミキサーのチャンネル、レベルメーター、トリム、EQの説明。2Master Tempo(BPMの計算方法)。3フェーダーのみでMIX。4Lowカットを使ってMIX。5Highカットを使ってMIX	時間外学習として復習90分取り組む
6		講義・演習	30分セットを作る Season1 A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
7		講義・演習	30分セットを作る Season2 ① A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
8		講義・演習	30分セットを作る Season3 ① A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
9		講義・演習	RECORDBOX ①② ・CD,USB,PCDJとの違いについて。RekordBoxを使うメリットについて 1ファイルマネジメント。2最初のセットアップ(各種モードの説明)。3プレイリストの作成	時間外学習として復習90分取り組む
10		講義・演習	トライアルレッスン	時間外学習として復習90分取り組む
11		講義・演習	60分セットを作る① A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
12		講義・演習	60分セットを作る③ A MIXポイントを学びながらセットを作る。B 選曲の仕方を学びながらセットを作る。C ロングミックスを学びながらセットを作る。	時間外学習として復習90分取り組む
13		講義・演習	Back to Backについて ・共同プレイおよびパフォーマンスにおけるシステムの理解と実践。	時間外学習として復習90分取り組む
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POPビジネス(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松本明浩
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	【株式会社YOUNG.WILD&FREE / 株式会社FAHP】 代表取締役社長。アーティストプロデュース全業務、営業、スカウト、育成、社内新人育成、ファンクラブ運営、グッズ制作、イベント制作、映像制作、舞台制作等、KPOP関連事業含む、ワンストップでエンタメ全般業務を行う。						
授業の学習 内容	芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割、その他関わるエンタメ全般の業務等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。又、日本におけるKPOP事務所としての基礎的な現場での動き、制作、マネジメント、ファンへの対応と、KPOPに関わらず世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。一人一人の創造力、感受性、思いやり、礼儀、コミュニケーション能力を培ってもらう。タレント自身が活動する中で、なくてはならない存在のマネージャーや制作スタッフの実際の経験談を交えながらも、毎月不定期で、各分野で活躍しているエンタメ企業の代表の先輩をゲストとしてお呼びし、トーク形式で授業を行う。実際に現場研修も不定期で行い体験してもらう。アーティスト事務所のスタッフとしても、エンタメで働く苦悩や楽しみ、やりがい、人のために動く喜びを学んでもらいながらも、実践で役立つ動きや考え方を習得してもらい、シンプルに「エンタメ業界の楽しさ」を知ってもらう。						
到達目標	①「インプット(興味・情報収集)」 芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」 業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」 外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「アーティスト・タレントについて」発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう ⑥「人間力」タレントもスタッフも、物じゃなく人売る上で大切な「人間力」を学び、社会に貢献する立派な人材を育てる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	エンタメ・アーティスト・事務所の役割を知る	エンタメ・アーティスト・事務所の役割の復習
2		講義・演習	事務所、マネージャーの業務内容を理解する	事務所、マネージャーの業務内容の復習
3		講義・演習	制作業務・各セクションを理解する	制作業務・各セクションの復習
4		講義・演習	コンサートにおける制作業務・資料	コンサートにおける制作業務・資料作成
5		講義・演習	レコード会社の業務について理解する	レコード会社の業務についての復習
6		講義・演習	プロダクション業務について理解する	プロダクション業務についての復習
7		講義・演習	コンサートに関わる業務について理解する	コンサートに関わる業務についての復習
8		講義・演習	ゲスト講義①	レポート提出
9		講義・演習	タレントのコミュニケーション・育成の仕方を学ぶ	タレントのコミュニケーション・育成の仕方の復習
10		講義・演習	現場での動き・気遣い・注意点・トラブル対処法を学ぶ	現場での動き・気遣い・注意点・トラブル対処法の復習
11		講義・演習	マネージャーについて理解する	マネージャーについての復習
12		講義・演習	ゲスト講義②	レポート提出
13		講義・演習	前期内容振り返り・実践	前期内容振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POPビジネス(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	松本明浩
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	【株式会社YOUNG.WILD&FREE / 株式会社FAHP】 代表取締役社長。アーティストプロデュース全業務、営業、スカウト、育成、社内新人育成、ファンクラブ運営、グッズ制作、イベント制作、映像制作、舞台制作等、KPOP関連事業含む、ワンストップでエンタメ全般業務を行う。						
授業の学習 内容	芸能・エンタメ業界の役割、タレントの役割、マネジメント・事務所側の役割、その他関わるエンタメ全般の業務等、各テーマに沿って細かく掘り下げて話していく。又、日本におけるKPOP事務所としての基礎的な現場での動き、制作、マネジメント、ファンへの対応と、KPOPに関わらず世の中の動きや流行に応じて一般視聴者、消費者が求めるものを常に追求し作り上げていく事を自らが考えられるようにしていく。一人一人の創造力、感受性、思いやり、礼儀、コミュニケーション能力を培ってもらう。タレント自身が活動する中で、なくてはならない存在のマネージャーや制作スタッフの実際の経験談を交えながらも、毎月不定期で、各分野で活躍しているエンタメ企業の代表の先輩をゲストとしてお呼びし、トーク形式で授業を行う。実際に現場研修も不定期で行い体験してもらう。アーティスト事務所のスタッフとしても、エンタメで働く苦悩や楽しみ、やりがい、人のために動く喜びを学んでもらいながらも、実践で役立つ動きや考え方を習得してもらい、シンプルに「エンタメ業界の楽しさ」を知ってもらう。						
到達目標	①「インプット(興味・情報収集)」 芸能・エンタメ業界、又それだけに限らず、世の中の動向に興味を持ってもらう ②「夢と現実」 業界で働く上で実際に起こるそれぞれの「やりがいや喜び、苦悩や厳しさ」を知ってもらう ③「精神力」 外・内面的に自分磨きと努力が大事。仕事への覚悟と体力、強い精神力、忍耐力を養う ④「アーティスト・タレントについて」発掘の仕方、育て方、接し方、戦略の立て方 ⑤「裏方の業務内容」芸能事務所、マネージャーの業務内容、営業や現場での心得・注意やトラブル対処法を知ってもらう ⑥「人間力」タレントもスタッフも、物じゃなく人を売る上で大切な「人間力」を学び、社会に貢献する立派な人材を育てる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	レコード会社を中心とした業種と企業について理解する	レコード会社を中心とした業種と企業についての復習
2		講義・演習	プロダクションを中心に業種と企業について理解する	プロダクションを中心に業種と企業についての復習
3		講義・演習	メジャーとインディーズの違いについて理解する	メジャーとインディーズの違いについての復習
4		講義・演習	ゲスト講義③	レポート提出
5		講義・演習	アーティストマネジメントの現状について学ぶ	アーティストマネジメントの現状についての復習
6		講義・演習	ファンビジネスについて理解する	ファンビジネスについての復習
7		講義・演習	KPOPに関わるビジネスについて企画案を作成する	KPOPに関わるビジネスについて企画案を作成する
8		講義・演習	ゲスト講義④	レポート提出
9		講義・演習	アートワーク(アーティスト写真、アルバムジャケット)の制作について理解する	アートワーク(アーティスト写真、アルバムジャケット)の制作についての復習
10		講義・演習	本場のK-POPと日本のK-POPの違いを理解し、そこに関わるビジネスについて理解する	本場のK-POPと日本のK-POPの違いを理解し、そこに関わるビジネスについての復習
11		講義・演習	打ち合わせ・営業・撮影・イベント現場体験	レポート提出
12		講義・演習	ゲスト講義⑤	レポート提出
13		講義・演習	後期内容振り返り・実践	後期内容振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rec Basic 1 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中実
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	レコーディングエンジニア。スタジオシャングリラ、スタジオICCを経てフリーランスに。SHANGRI-LA.inc 所属						
授業の学習 内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。頭に入れるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	SSLスタジオの説明、電源の入れ方、CDの聞き方を覚える	レポート提出
2		講義・演習	マイク、スタンドの説明。CDを卓に立ち上げて聞いている	レポート提出
3		講義・演習	SSLの信号の流れ、MICを立ち上げて音がだせるようになる。Protoolsに録音してみる	レポート提出
4		講義・演習	SSLの信号の流れ、AUX SENDを使ってエフェクターのセッティングを覚える	レポート提出
5		講義・演習	SSLの信号の流れ、CUEBOXへの送り方と使い方を学ぶ	レポート提出
6		講義・演習	基本的なProtoolsのオペレーション操作を覚える	レポート提出
7		講義・演習	Vo レコーディング シュミレート練習1 マイクセッティングをしてVoレコーディングする準備を自分達だけでできるように練習する	レポート提出
8		講義・演習	Vo レコーディング シュミレート練習2 パンチインの練習などをして操作に慣れる	レポート提出
9		講義・演習	Vocal レコーディング 実際にVoを呼んでレコーディングをしてみる。これまで勉強したことがどこまで覚えているか確認と実践練習	レポート提出
10		講義・演習	前の週に録音したデータを確認しつつ、次回のレコーディングに向けて反省と理解できていないところの復習	レポート提出
11		講義・演習	試験練習	試験
12		講義・演習	前期試験(実技)	試験
13		講義・演習	前期まとめ	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に取り組み期限内に提出	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rec Basic 1 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田中実
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	レコーディングエンジニア。スタジオシャングリラ、スタジオICCを経てフリーランスに。SHANGRI-LA.inc 所属						
授業の学習 内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。頭 にいれるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコ ミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習	前期の復習振り返りと楽器知識の予習。
2		講義・演習	ドラム・ベースレコーディングセッティング練習①	ドラム・ベースレコーディングセッティング練習①振り返りと楽器知識の予習
3		講義・演習	ギター・キーボードレコーディングセッティング練習②	ギター・キーボードレコーディングセッティング練習②振り返りと楽器知識の予習。
4		講義・演習	各種楽器レコーディング演習	各種楽器レコーディング演習振り返りと楽器知識の予習。
5		講義・演習	前週の反省点などを改善、トレーニング	前週の反省点などを改善、トレーニングについて振り返りとまとめ
6		講義・演習	3人編成バンドレコーディングセッティング練習①	3人編成バンドレコーディングセッティング練習①振り返りと自習。
7		講義・演習	4人編成バンドレコーディングセッティング練習②	4人編成バンドレコーディングセッティング練習②振り返りと自習。
8		講義・演習	5～6人編成バンドレコーディングセッティング練習③	5～6人編成バンドレコーディングセッティング練習③振り返りと自習。
9		講義・演習	バンドレコーディング演習①	バンドレコーディング演習①振り返りと自習。
10		講義・演習	バンドレコーディング演習②	バンドレコーディング演習②振り返りと自習。
11		講義・演習	前週の反省点などを改善、トレーニング	前週の反省点などを改善、トレーニング
12		講義・演習	実技試験	試験対策 復習
13		講義・演習	後期の復習	後期に覚えたことを復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に取り組み期限内に提出	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Recワークショップ 1 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	前田基彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	フリーランスエンジニア。自身のスタジオを中心に活動。バンド/劇伴/映画サラウンド等幅広いジャンルに関わる。						
授業の学習 内容	エンジニアの仕事に関わる基礎項目を習得する授業です。基礎知識を得る事で他科目の理解を深められます。難しい項目もありますが判りやすく授業をしますので頑張って参加し学習してください。実技と座学で機材 & 音との接しかたや楽曲の捉え方まで多義に渡り解説します。服装はエンジニアリングを行うにふさわしい格好(行動しやすい靴や服で参加する事。スカートは避ける事。) 持ち物は、①授業内で使用する音源等持ち帰り用 USBメモリ・ハードディスクなどの外部記憶媒体 ②自分のリファレンス (基準) となるヘッドフォンまたはイヤホン (接続はTRSまたはミニTRS)						
到達目標	レコーディングのワークフロー理解、機材の基礎的使用方法習得、レコーディング業界標準のProtools(プロツールズ)の基本的な使用方法習得。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	1年間の計画 機材廻り信号の流れ①	ノート復習
2		講義・演習	音の聴き方①	楽曲準備 解析復習
3		講義・演習	プロツールズについて	WEBサイト閲覧
4		講義・演習	マイク①	マイク情報収集
5		講義・演習	エフェクター①	エフェクター情報収集
6		講義・演習	機材廻り信号の流れ②	ノート復習
7		講義・演習	レコーディング①	シグナルフロー復習
8		講義・演習	学園祭総括 世の中にある機材の情報収集	WEBサイト閲覧
9		講義・演習	音の聴き方②	楽曲準備 解析復習
10		講義・演習	レコーディング②	シグナルフロー復習
11		講義・演習	明日への扉に向けて 機材廻りの解説①	配布資料確認
12		講義・演習	明日への扉に向けて 機材廻りの解説②	配布資料確認
13		講義・演習	ミュージカルのライブレコーディングのシステム構築及びProToolsセッション作成について	ミュージカルのライブレコーディングのセッション作成について振り返りと自習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
JAPRS サウンドレコーディング技術概論 Sound & Recording マガジン				

科目名	Recワークショップ 1 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	前田基彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	フリーランスエンジニア。自身のスタジオを中心に活動。バンド/劇伴/映画サラウンド等幅広いジャンルに関わる。						
授業の学習 内容	エンジニアの仕事に関わる基礎項目を習得する授業です。基礎知識を得る事で他科目の理解を深められます。難しい項目もありますが判りやすく授業をしますので頑張って参加し学習してください。実技と座学で機材 & 音との接しかたや楽曲の捉え方まで多義に渡り解説します。服装はエンジニアリングを行うにふさわしい格好(行動しやすい靴や服で参加する事。スカートは避ける事。) 持ち物は、①授業内で使用する音源等持ち帰り用 USBメモリ・ハードディスクなどの外部記憶媒体 ②自分のリファレンス (基準) となるヘッドフォンまたはイヤホン (接続はTRSまたはミニTRS)						
到達目標	レコーディングのワークフロー理解、機材の基礎的使用方法習得、レコーディング業界標準のProtools(プロツールズ)の基本的な使用方法習得。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ライブRec総括とミックス作業概要説明	ノート復習
2		講義・演習	マイク② 楽器録音①	録音ファイル復習聴取
3		講義・演習	楽器録音② エフェクター③	プラグイン復習操作
4		講義・演習	楽器録音② エフェクター④	プラグイン復習操作
5		講義・演習	サラウンド①	サラウンド情報収集
6		講義・演習	サラウンド①	サラウンド情報収集
7		講義・演習	ハンダ付け①	ケーブルチェック
8		講義・演習	明日への扉 ミックス作業	ワークフロー復習
9		講義・演習	音の聴き方③	楽曲準備 解析復習
10		講義・演習	サラウンド④	サラウンド情報収集
11		講義・演習	テスト マスタリングについて	配布資料確認
12		講義・演習	ラウドネスレベルについて	配布資料確認
13		講義・演習	総括としての演習試験	ノート復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
JAPRS サウンドレコーディング技術概論 Sound & Recording マガジン				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	ソングライティングゼミ 1 (1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇津本直 紀
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1994年、DEENにドラムス・コーラス担当として加入。多くの作曲を手掛け、脱退後も作曲・プロデュース活動を行う。						
授業の学習 内容	楽曲制作のプロセス、作曲理論と実践、作詞理論と実践、劇伴音楽の作曲と制作、クリエイティブの方法論、トータルプロデュースから見た楽曲の役割を学ぶ。 課題を随時提出して「楽曲デモ」のクオリティーの向上をはかる。						
到達目標	映画・アニメ・ドラマ・ゲームで使用され、メジャーリリースされるクオリティーの楽曲の作詞・作曲・編曲・デモ制作ができるだけの知識とスキルの修得。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れ	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れについて振り返りレポートをまとめる。
2		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割口	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割について振り返りレポートをまとめる。
3		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れ	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れについて振り返りレポートをまとめる。
4		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？について振り返りレポートをまとめる。
5		講義・演習	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ ベースラインとは？	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ベース ラインとは？について振り返りレポートをまとめる。
6		講義・演習	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音につ いて振り返りレポートをまとめる。
7		講義・演習	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの 構成音、およびテンション	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの構成音、およ びテンションについて振り返りレポートをまとめる。
8		講義・演習	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつ くり方	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつ くり方について振り返りレポートをまとめる。
9		講義・演習	作曲理論⑤劇伴について	作曲理論⑤劇伴について振り返りレポートを まとめる。
10		講義・演習	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方 法を学びます。	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方 法について振り返りレポートをまとめる。
11		講義・演習	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 前週学んだ楽曲分析の方法をつかってみんなで実際に楽曲を分析してみま す。また、楽曲分析の課題を指示します。	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 楽曲分析の課題に対して、レポートをまとめる。
12		講義・演習	楽曲分析の個別指導	次回テストに向けたデモ楽曲の制作
13		講義・演習	定期テスト	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ソングライティングゼミ 1 (2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇津本直 紀
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1994年、DEENにドラムス・コーラス担当として加入。多くの作曲を手掛け、脱退後も作曲・プロデュース活動を行う。						
授業の学習 内容	楽曲制作のプロセス、作曲理論と実践、作詞理論と実践、劇伴音楽の作曲と制作、クリエイティブの方法論、トータルプロデュースから見た楽曲の役割を学ぶ。 課題を随時提出して「楽曲デモ」のクオリティーの向上をはかる。						
到達目標	映画・アニメ・ドラマ・ゲームで使用され、メジャーリリースされるクオリティーの楽曲の作詞・作曲・編曲・デモ制作ができるだけの知識とスキルの修得。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れ	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れについて振り返りレポートをまとめる。
2		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割口	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割について振り返りレポートをまとめる。
3		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れ	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れについて振り返りレポートをまとめる。
4		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？ について振り返りレポートをまとめる。
5		講義・演習	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ ベースラインとは？	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ベース ラインとは？について振り返りレポートをまとめる。
6		講義・演習	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音 について振り返りレポートをまとめる。
7		講義・演習	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの 構成音、およびテンション	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの構成音、およ びテンションについて振り返りレポートをまとめる。
8		講義・演習	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつくり方	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつくり方について振り返りレポートをまとめる。
9		講義・演習	作曲理論⑤劇伴について	作曲理論⑤劇伴について振り返りレポートをまとめる。
10		講義・演習	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方法を学びます。	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方法について振り返りレポートをまとめる。
11		講義・演習	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 前週学んだ楽曲分析の方法をつかってみんなで実際に楽曲を分析してみます。また、楽曲分析の課題を指示します。	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 楽曲分析の課題に対して、レポートをまとめる。
12		講義・演習	楽曲分析の個別指導	次回テストに向けたデモ楽曲の制作
13		講義・演習	楽曲分析の個別指導・作曲スキルのまとめ	楽曲分析の個別指導・作曲スキルのまとめについて振り返り、レポートをまとめる。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM Advance (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横野康平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上現役でJ-pop K-pop ライブ制作や映像音楽の作曲編曲活動を行なっている。講師活動は8年以上。						
授業の学習 内容	既存曲から講師が仕事で役に立ちそうな実践的なDTMテクニックを抜粋し、配布された教材を使い各自真似をしてサウンドデザインや打ち込みのテクニックを習得する。						
到達目標	題材のジャンルや楽曲制作テクニックを学び自身のオリジナル作品に反映させる。						
評価方法と基準	実技試験 50% 筆記試験 0% 課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	各DAW Strings Expression,Articulationの入力方法とコツを習得	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
2		講義・演習	Dance Pop曲を使ってオートメーションを使えるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
3		講義・演習	トロピカルハウスの作り方を習得	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
4		講義・演習	HIPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
5		講義・演習	LofiBeatのサウンドデザインを学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
6		講義・演習	vocal素材を使ってVocalCutUpの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
7		講義・演習	Dolphinボイスの作り方を学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
8		講義・演習	生楽器とシンセのレイヤーを使えるようになる	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
9		講義・演習	FutureBassの作り方 (シンセサイザー編)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
10		講義・演習	FutureBassの作り方 (生楽器編)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
11		講義・演習	Dubstep (GlowlBass) の作り方	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
12		講義・演習	Dubstep (ColourBass) の作り方	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
13		講義・演習	1コーラスラフデモ制作テスト	配布データなどを使って制作アイデアを用意しておく
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			いろんな音楽にふれあい作曲の基礎が身につく環境にいること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DTM Advance (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横野康平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上現役でJ-pop K-pop ライブ制作や映像音楽の作曲編曲活動を行なっている。講師活動は8年以上。						
授業の学習 内容	既存曲から講師が仕事で役に立ちそうな実践的なDTMテクニックを抜粋し、配布された教材を使い各自真似をしてサウンドデザインや打ち込みのテクニックを習得する。						
到達目標	題材のジャンルや楽曲制作テクニックを学び自身のオリジナル作品に反映させる。						
評価方法と基準	実技試験 50% 筆記試験 0% 課題 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Electroswingの作り方を習得する。1	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
2		講義・演習	Electroswingの作り方を習得する。2	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
3		講義・演習	2Stepの作り方を学んで作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
4		講義・演習	ガールズクラッシュ楽曲を用いて力強いPopsを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
5		講義・演習	SlapBassやエレビがカウンターに入ってくFutureBass楽曲を用いてダンスブレイクの習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
6		講義・演習	アラビックスケールなどを用いてEDM調のTrapを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
7		講義・演習	KpopDeepHouseの作り方を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
8		講義・演習	NewJackSwing曲を習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
9		講義・演習	音ゲーに使われているトランス曲を使って早いフレーズを学び作れるようになる。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
10		講義・演習	スクリーチシンセの作り方を習得する。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
11		講義・演習	FMシンセを使って簡単なBassHouseを習得。	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
12		講義・演習	FMシンセを使ってSkrillexのようなサウンドを出せるようになる。(Supersonic)	各自使用しているDawのマニュアルや公式サイトやネット記事を読んでおく
13		講義・演習	1コーラスラフデモ制作テスト	配布データなどを使って制作アイデアを用意
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			いろんな音楽にふれあい作曲の基礎が身につく環境にいること	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	サウンドメイキング (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	今関邦裕
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2003年東京のCRESCENTE STUDIOよりキャリアをスタートし、2014年よりフリーランスとしてRec/Mix/Operator/Editorを務める						
授業の学習 内容	ミキシングの基礎知識、応用、ミキシングの観点からアレンジやレコーディングの重要性を学ぶ。作曲コースのコンペ授業での反省とアドバイス、実演を交えてミキシングによる伝え方を学ぶ。ジャンルという枠にとらわれず、音楽の聴き方を学び様々な音楽に触れる。						
到達目標	楽曲の在り方をミキシングの視点から感じる。 楽曲が伝えたい事を作り手の立場になって一・制作者になる。楽曲が持つ可能性を広げる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	サウンドエンジニアから見る音楽ビジネスの説明と音楽のあり方と表現の仕方①	授業内で扱うためのパラデータ作成
2		講義・演習	サウンドエンジニアから見る音楽ビジネスの説明と音楽のあり方と表現の仕方②	授業内で扱うためのパラデータ作成
3		講義・演習	Consolenの使い方① 基礎。ミキシング理論①	授業内で扱うためのパラデータ作成
4		講義・演習	Consolenの使い方② 基礎。ミキシング理論②	授業内で扱うためのパラデータ作成
5		講義・演習	Consolenの使い方③ 基礎。ミキシング理論③	授業内で扱うためのパラデータ作成
6		講義・演習	Consolenの使い方④ 基礎。ミキシング理論④	授業内で扱うためのパラデータ作成
7		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方1。	授業内で扱うためのパラデータ作成
8		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方2。	授業内で扱うためのパラデータ作成
9		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方3。	授業内で扱うためのパラデータ作成
10		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方4。	授業内で扱うためのパラデータ作成
11		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方5。	授業内で扱うためのパラデータ作成
12		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方6。	授業内で扱うためのパラデータ作成
13		講義・演習	ミキシングの応用技術を活かしたプリプロ提出楽曲のリミックス作品提出	授業内で扱うためのパラデータ作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	サウンドメイキング (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	今関邦裕
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2003年東京のCRESCENTE STUDIOよりキャリアをスタートし、2014年よりフリーランスとしてRec/Mix/Operator/Editorを務める						
授業の学習 内容	ミキシングの基礎知識、応用、ミキシングの観点からアレンジやレコーディングの重要性を学ぶ。作曲コースのコンペ授業での反省とアドバイス、実演を交えてミキシングによる伝え方を学ぶ。ジャンルという枠にとらわれず、音楽の聴き方を学び様々な音楽に触れる。						
到達目標	楽曲の在り方をミキシングの視点から感じる。 楽曲が伝えたい事を作り手の立場になって一・制作者になる。楽曲が持つ可能性を広げる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方8。	授業内で扱うためのパラデータ作成
2		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方9。	授業内で扱うためのパラデータ作成
3		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方10。	授業内で扱うためのパラデータ作成
4		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方11。	授業内で扱うためのパラデータ作成
5		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方12。	授業内で扱うためのパラデータ作成
6		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方13。	授業内で扱うためのパラデータ作成
7		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方14。	授業内で扱うためのパラデータ作成
8		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方15。	授業内で扱うためのパラデータ作成
9		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方16。	授業内で扱うためのパラデータ作成
10		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方17。	授業内で扱うためのパラデータ作成
11		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方18。	授業内で扱うためのパラデータ作成
12		講義・演習	マイキング・ミキシングのアプローチ方法。プリプロの改善。エフェクトの使い方19。	授業内で扱うためのパラデータ作成
13		講義・演習	ミキシングの応用技術を活かしたプリプロ提出楽曲のリミックス作品提出	授業内で扱うためのパラデータ作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rec Advance (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	前田基彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	フリーランスエンジニア。自身のスタジオを中心に活動。バンド/声優/劇伴/映画サラウンド等幅広いジャンルに関わる。						
授業の学習 内容	エンジニアの仕事に関わる上達項目を習得する授業です。上達知識を得る事で他科目の深い理解を深められます。難しい項目満載ですが判りやすく授業をしますので頑張って参加し学習してください。実技と座学で機材＆音との接しかたや楽曲の捉え方まで多義に渡り解説します。服装はエンジニアリングを行うにふさわしい格好(行動しやすい靴や服で参加する事。スカートは避ける事。) 持ち物は、①授業内で使用する音源等持ち帰り用 USBメモリ・ハードディスクなどの外部記憶媒体 ②自分のリファレンス(基準)となるヘッドフォンまたはイヤホン(接続はTRSまたはミニTRS)						
到達目標	レコーディングの実践ワークフロー理解、機材の上級使用方法習得、レコーディング業界標準のProtools(プロツールズ)の現場レベルの使用法習得。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	1年間の計画 セットイングトレーニング	1年間の計画 セットイングトレーニング振り返りと自習。
2		講義・演習	セットイングトレーニング	セットイングトレーニング振り返りと自習。
3		講義・演習	レコーディングセッティングについて	レコーディングセッティングについて振り返りと自習。
4		講義・演習	レコーディング演習	レコーディング演習振り返りと自習。
5		講義・演習	ヴォーカルピッチ修正	ヴォーカルピッチ修正 振り返りと自習。
6		講義・演習	ミックスダウン演習	ミックスダウン演習 振り返りと自習。
7		講義・演習	3Pバンドレコーディング演習	3Pバンドレコーディング演習 振り返りと自習。
8		講義・演習	3Pバンドレコーディング & ミキシング	3Pバンドレコーディング & ミキシング 振り返りと自習。
9		講義・演習	4Pバンドレコーディング	4Pバンドレコーディング 振り返りと自習。
10		講義・演習	4Pバンドレコーディング & ミキシング	4Pバンドレコーディング & ミキシング 振り返りと自習。
11		講義・演習	明日への扉に向けて 機材廻りの解説1	配布資料確認 MADI DANTE確認 振り返りと自習。
12		講義・演習	明日への扉に向けて 機材廻りの解説2	システムプラン構築 フロー理解 振り返りと自習。
13		講義・演習	総括としての演習試験	ノート復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
JAPRS サウンドレコーディング技術概論 Sound & Recording マガジン				

科目名	Rec Advance (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	前田基彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	フリーランスエンジニア。自身のスタジオを中心に活動。バンド/声優/劇伴/映画サラウンド等幅広いジャンルに関わる。						
授業の学習 内容	エンジニアの仕事に関わる上達項目を習得する授業です。上達知識を得る事で他科目の深い理解を深められます。難しい項目満載ですが判りやすく授業をしますので頑張って参加し学習してください。実技と座学で機材＆音との接しかたや楽曲の捉え方まで多義に渡り解説します。服装はエンジニアリングを行うにふさわしい格好(行動しやすい靴や服で参加する事。スカートは避ける事。) 持ち物は、①授業内で使用する音源等持ち帰り用 USBメモリ・ハードディスクなどの外部記憶媒体 ②自分のリファレンス(基準)となるヘッドフォンまたはイヤホン(接続はTRSまたはミニTRS)						
到達目標	レコーディングの実践ワークフロー理解、機材の上級使用方法習得、レコーディング業界標準のProtools(プロツールズ)の現場レベルの使用法習得。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	明日への扉 ミックス作業 1 データ整理	明日への扉 ミックス作業 1 データ整理 振り返りと自習。
2		講義・演習	明日への扉 ミックス作業 2 ノイズリダクション	明日への扉 ミックス作業 2 ノイズリダクション 振り返りと自習。
3		講義・演習	明日への扉 ミックス作業 3 トリートメント	明日への扉 ミックス作業 3 トリートメント 振り返りと自習。
4		講義・演習	明日への扉 ミックス作業 4 バランス調整	明日への扉 ミックス作業 4 バランス調整 振り返りと自習。
5		講義・演習	5Pバンドレコーディング	5Pバンドレコーディング 振り返りと自習。
6		講義・演習	ミックスダウン	ミックスダウン 振り返りと自習。
7		講義・演習	明日への扉 ミックス作業 5 空間表現	明日への扉 ミックス作業 5 空間表現 振り返りと自習。
8		講義・演習	明日への扉 ミックス作業 6 オートメーション	明日への扉 ミックス作業 6 オートメーション 振り返りと自習。
9		講義・演習	卒業制作展代表バンドレコーディング	卒業制作展代表バンドレコーディング 振り返りと自習。
10		講義・演習	卒業制作展代表バンドレコーディングダビング &ミキシング	卒業制作展代表バンドレコーディングダビング &ミキシング 振り返りと自習。
11		講義・演習	サラウンドについて	サラウンドについて 振り返りと自習。
12		講義・演習	マスタリングについて	マスタリングについて 振り返りと自習。
13		講義・演習	総括	ノート復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
JAPRS サウンドレコーディング技術概論 Sound & Recording マガジン				

科目名	K-POP(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	JIYEON
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2011年よりダンサーとして活躍。K-POP Danceの海外公演にも参加し、日本ではアイドルの振り付けやダンス指導を担当。						
授業の学習 内容	基本的なダンスに必要なストレッチ、アイソレーション、筋カトレーニングそしてK-POPのカバーダンス(課題の曲に関しては前週のレッスンまでに発表)						
到達目標	授業内で振付が理解出来ている。1人でも堂々と複数の前で踊り、表現が出来る。						
評価方法と基準	課題の振り付けがしっかり覚えられている。ただ振付を覚えるだけではなく曲の雰囲気や歌詞などを理解して目を引くパフォーマンスが出来ているかどうか。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→OMG/New Jeans サビ部分
2		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→OMG/New Jeans イントロ～サビ前
3		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Say my name/BOYS PLANET サビ部分
4		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Say my name/BOYS PLANET イントロ～サビ前
5		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Love me like this/NMIXX サビ部分
6		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Love me like this/NMIXX イントロ～サビ前
7		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
8		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
9		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
10		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
11		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
12		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
13		講義・演習	試験	試験で踊る曲の練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	JIYEON
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2011年よりダンサーとして活躍。K-POP Danceの海外公演にも参加し、日本ではアイドルの振り付けやダンス指導を担当。						
授業の学習 内容	基本的なダンスに必要なストレッチ、アイソレーション、筋カトレーニングそしてK-POPのカバーダンス(課題の曲に関しては前週のレッスンまでに発表)						
到達目標	授業内で振付が理解出来ている。1人でも堂々と複数の前で踊り、表現が出来る。						
評価方法と基準	課題の振り付けがしっかり覚えられている。ただ振付を覚えるだけではなく曲の雰囲気や歌詞などを理解して目を引くパフォーマンスが出来ているかどうか。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
2		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
3		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
4		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
5		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
6		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
7		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
8		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
9		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
10		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
11		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
12		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
13		講義・演習	試験	試験で踊る曲の練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance for singer(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	木本雄
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上、振付師・ダンサーとして活動。BTS,KESHA,w-inds.,MIYAVI,山下智久,KAT-TUN,西内まりや,AKB48等多くのアーティストと共演。						
授業の学習 内容	①歌を歌う時のリズム感を養う ②音楽が関連してくる時全般 ③ただ歌うだけでなく見てる人の目も楽しませられるようになる ④基本的にリズムトレーニングが中心						
到達目標	音の取り方を自在に操り音遊びが出来るようになる						
評価方法と基準	実技による採点と授業出席率の平常点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	業界の仕事をするということ。授業を受けるうえでの心構え	授業内容を自主練習
2		講義・演習	筋トレストレッチによる体づくり	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アイソレーションなどの基礎	授業内容を自主練習
4		講義・演習	基礎的な体の動かし方	授業内容を自主練習
5		講義・演習	基礎的なリズムトレーニング	授業内容を自主練習
6		講義・演習	複合的なリズムトレーニング	授業内容を自主練習
7		講義・演習	簡単な振付	授業内容を自主練習
8		講義・演習	簡単な振付にリズム感を入れる	授業内容を自主練習
9		講義・演習	全体のリズムを合わせるトレーニング	授業内容を自主練習
10		講義・演習	バリエーションを増やした振付	授業内容を自主練習
11		講義・演習	前週のトレーニング	授業内容を自主練習
12		講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
13		講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Dance for singer(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	木本雄
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	10年以上、振付師・ダンサーとして活動。BTS,KESHA,w-inds.,MIYAVI,山下智久,KAT-TUN,西内まりや,AKB48等多くのアーティストと共演。						
授業の学習 内容	①歌を歌う時のリズム感を養う ②音楽が関連してくる時全般 ③ただ歌うだけでなく見てる人の目も楽しませられるようになる ④基本的にリズムトレーニングが中心						
到達目標	音の取り方を自在に操り音遊びが出来るようになる						
評価方法と基準	実技による採点と授業出席率の平常点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	業界の仕事をするということ。授業を受けるうえでの心構え	授業内容を自主練習
2		講義・演習	筋トレストレッチによる体づくり	授業内容を自主練習
3		講義・演習	アイソレーションなどの基礎	授業内容を自主練習
4		講義・演習	基礎的な体の動かし方	授業内容を自主練習
5		講義・演習	基礎的なリズムトレーニング	授業内容を自主練習
6		講義・演習	複合的なリズムトレーニング	授業内容を自主練習
7		講義・演習	簡単な振付	授業内容を自主練習
8		講義・演習	簡単な振付にリズム感を入れる	授業内容を自主練習
9		講義・演習	全体のリズムを合わせるトレーニング	授業内容を自主練習
10		講義・演習	バリエーションを増やした振付	授業内容を自主練習
11		講義・演習	前週のトレーニング	授業内容を自主練習
12		講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
13		講義・演習	テスト振付	授業内容を自主練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスAdvance 1 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神山清豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2010年よりDJスクールを開校、東京全土に次世代のアーティストを多数輩出。また世界最大のダンスミュージックレーベル“Spinnin’ Records”傘下“Oliver Heldens”のHELDEEPより日本人で初めての楽曲リリースを実現させている。						
授業の学習 内容	DJのパフォーマンス技術を習得する為に、最新のソフトウェアや機材の操作の理解、楽曲の理解およびセレクト、スクラッチ技術などを学習する。						
到達目標	DJとしてイベントに出演、ステージパフォーマンスの経験を積む。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	【新時代のDJのあり方について講義】	時間外学習として復習90分取り組む
2		講義・演習	【スクラッチ講習①】 ・今までのレベルチェック	時間外学習として復習90分取り組む
3		講義・演習	【楽曲制作講習①】 ・今までのレベルチェック	時間外学習として復習90分取り組む
4		講義・演習	【マイクパフォーマンス講習①】	時間外学習として復習90分取り組む
5		講義・演習	個人面談	これまでの総復習
6		講義・演習	【出演・準備(配信)】	出演に向けてのセットリスト作成
7		講義・演習	【出演・準備(配信)】	出演に向けてのセットリスト作成
8		講義・演習	【出演・本番(配信)】 ・校内ホール	時間外学習として復習90分取り組む
9		講義・演習	【配信プロジェクトのフィードバック】	時間外学習として復習90分取り組む
10		講義・演習	【楽曲制作講習②】 ・現時点での制作プロジェクトのフィードバック	時間外学習として復習90分取り組む
11		講義・演習	【スクラッチ講習②】	時間外学習として復習90分取り組む
12		講義・演習	【マイクパフォーマンス講習②】	時間外学習として復習90分取り組む
13		講義・演習	【中間テスト】	これまでの総復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスAdvance 1 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神山清豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2010年よりDJスクールを開校、東京全土に次世代のアーティストを多数輩出。また世界最大のダンスミュージックレーベル“Spinnin’ Records”傘下“Oliver Heldens”のHELDEEPより日本人で初めての楽曲リリースを実現させている。						
授業の学習 内容	DJのパフォーマンス技術を習得する為に、最新のソフトウェアや機材の操作の理解、楽曲の理解およびセレクト、スクラッチ技術などを学習する。						
到達目標	DJとしてイベントに出演、ステージパフォーマンスの経験を積む。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	マイクパフォーマンス講習	時間外学習として復習90分取り組む
2		講義・演習	ダンスミュージック楽曲制作のスキルアップコンサル	時間外学習として復習90分取り組む
3		講義・演習	【クラブ出演・本番(配信)】・銀座GHQ	これまでの総復習
4		講義・演習	【スクラッチ講習③】	時間外学習として復習90分取り組む
5		講義・演習	【楽曲制作講習③】	時間外学習として復習90分取り組む
6		講義・演習	【マイクパフォーマンス講習③】	時間外学習として復習90分取り組む
7		講義・演習	【出演・準備(配信)】	時間外学習として復習90分取り組む
8		講義・演習	【出演・本番(配信)】・校内ホール	時間外学習として復習90分取り組む
9		講義・演習	【配信プロジェクトのフィードバック】	これまでの総復習
10		講義・演習	【楽曲製作講習④】	時間外学習として復習90分取り組む
11		講義・演習	【スクラッチ講習④】	時間外学習として復習90分取り組む
12		講義・演習	【楽曲製作講習⑤】	時間外学習として復習90分取り組む
13		講義・演習	【期末テスト】	これまでの総復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスAdvance 2 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神山清豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2010年よりDJスクールを開校、東京全土に次世代のアーティストを多数輩出。また世界最大のダンスミュージックレーベル“Spinnin’ Records”傘下“Oliver Heldens”のHELDEEPより日本人で初めての楽曲リリースを実現させている。						
授業の学習 内容	DJのパフォーマンス技術を習得する為に、最新のソフトウェアや機材の操作の理解、楽曲の理解およびセレクト、スクラッチ技術などを学習する。						
到達目標	DJとしてイベントに出演、ステージパフォーマンスの経験を積む。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	【新時代のDJのあり方について講義】	時間外学習として復習90分取り組む
2		講義・演習	【スクラッチ講習①】・今までのレベルチェック	時間外学習として復習90分取り組む
3		講義・演習	【楽曲制作講習①】・今までのレベルチェック	時間外学習として復習90分取り組む
4		講義・演習	【マイクパフォーマンス講習①】	時間外学習として復習90分取り組む
5		講義・演習	個人面談	これまでの総復習
6		講義・演習	【出演・準備(配信)】	出演に向けてのセットリスト作成
7		講義・演習	【出演・準備(配信)】	出演に向けてのセットリスト作成
8		講義・演習	【出演・本番(配信)】・校内ホール	時間外学習として復習90分取り組む
9		講義・演習	【配信プロジェクトのフィードバック】	時間外学習として復習90分取り組む
10		講義・演習	【楽曲制作講習②】・現時点での制作プロジェクトのフィードバック	時間外学習として復習90分取り組む
11		講義・演習	【スクラッチ講習②】	時間外学習として復習90分取り組む
12		講義・演習	【マイクパフォーマンス講習②】	時間外学習として復習90分取り組む
13		講義・演習	【中間テスト】	これまでの総復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスAdvance 2 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	神山清豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2010年よりDJスクールを開校、東京全土に次世代のアーティストを多数輩出。また世界最大のダンスミュージックレーベル“Spinnin’ Records”傘下“Oliver Heldens”のHELDEEPより日本人で初めての楽曲リリースを実現させている。						
授業の学習 内容	DJのパフォーマンス技術を習得する為に、最新のソフトウェアや機材の操作の理解、楽曲の理解およびセレクト、スクラッチ技術などを学習する。						
到達目標	DJとしてイベントに出演、ステージパフォーマンスの経験を積む。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(実技試験:100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	マイクパフォーマンス講習	時間外学習として復習90分取り組む
2		講義・演習	ダンスミュージック楽曲制作のスキルアップコンサル	時間外学習として復習90分取り組む
3		講義・演習	【クラブ出演・本番(配信)】・銀座GHQ	これまでの総復習
4		講義・演習	【スクラッチ講習③】	時間外学習として復習90分取り組む
5		講義・演習	【楽曲制作講習③】	時間外学習として復習90分取り組む
6		講義・演習	【マイクパフォーマンス講習③】	時間外学習として復習90分取り組む
7		講義・演習	【出演・準備(配信)】	時間外学習として復習90分取り組む
8		講義・演習	【出演・本番(配信)】・校内ホール	時間外学習として復習90分取り組む
9		講義・演習	【配信プロジェクトのフィードバック】	これまでの総復習
10		講義・演習	【楽曲製作講習④】	時間外学習として復習90分取り組む
11		講義・演習	【スクラッチ講習④】	時間外学習として復習90分取り組む
12		講義・演習	【楽曲製作講習⑤】	時間外学習として復習90分取り組む
13		講義・演習	【期末テスト】	これまでの総復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rec Basic 2 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	田中実
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	レコーディングエンジニア。スタジオシャングリラ、スタジオICCを経てフリーランスに。SHANGRI-LA.inc 所属						
授業の学習 内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。 頭に入れるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	SSLスタジオの説明、電源の入れ方、CDの聞き方を覚える	レポート提出
2		講義・演習	マイク、スタンドの説明。CDを卓に立ち上げて聞いてみる	レポート提出
3		講義・演習	SSLの信号の流れ、MICを立ち上げて音がだせるようになる。Protoolsに録音してみる	レポート提出
4		講義・演習	SSLの信号の流れ、AUX SENDを使ってエフェクターのセッティングを覚える	レポート提出
5		講義・演習	SSLの信号の流れ、CUEBOXへの送り方と使い方を学ぶ	レポート提出
6		講義・演習	基本的なProtoolsのオペレーション操作を覚える	レポート提出
7		講義・演習	Vo レコーディング シュミレート練習1 マイクセッティングをしてVoレコーディングする準備を自分達だけでできるように練習する	レポート提出
8		講義・演習	Vo レコーディング シュミレート練習2 パンチインの練習などをして操作に慣れる	レポート提出
9		講義・演習	Vocal レコーディング 実際にVoを呼んでレコーディングをしてみる。これまで勉強したことがどこまで覚えられているか確認と実践練習	レポート提出
10		講義・演習	前の週に録音したデータを確認しつつ、次回のレコーディングに向けて反省と理解できているところの復讐	レポート提出
11		講義・演習	試験練習	試験
12		講義・演習	前期試験(実技)	試験
13		講義・演習	前期まとめ	レポート提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に取り組む期限内に提出	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rec Basic 2 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	田中実
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	レコーディングエンジニア。スタジオシャングリラ、スタジオICCを経てフリーランスに。SHANGRI-LA.inc 所属						
授業の学習 内容	プロのレコーディングエンジニアになる為に必要なミキシングコンソール、PROTOOLSなどの基本的な使い方を覚える。 頭に入れるだけではなく、体が覚えるまで反復練習を繰り返し行い技術を習得する。						
到達目標	プロのレコーディングエンジニアとして就職を目指し、まずはアシスタント業務を円滑に行えるようになるまでの操作技術とコミュニケーション能力を養う。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の復習	前期の復習 振り返りと楽器知識の予習。
2		講義・演習	ドラム・ベースレコーディングセッティング練習①	① 振り返りと楽器知識の予習
3		講義・演習	ギター・キーボードレコーディングセッティング練習②	練習② 振り返りと楽器知識の予習
4		講義・演習	各種楽器レコーディング演習	各種楽器レコーディング演習 振り返りと楽器知識の予習。
5		講義・演習	前週の反省点などを改善、トーレニング	前週の反省点などを改善、トーレニングについて振り返りとまとめ
6		講義・演習	3人編成バンドレコーディングセッティング練習①	① 振り返りと自習
7		講義・演習	4人編成バンドレコーディングセッティング練習②	② 振り返りと自習
8		講義・演習	5～6人編成バンドレコーディングセッティング練習③	③ 振り返りと自習
9		講義・演習	バンドレコーディング演習①	バンドレコーディング演習① 振り返りと自習。
10		講義・演習	バンドレコーディング演習②	バンドレコーディング演習② 振り返りと自習。
11		講義・演習	前週の反省点などを改善、トーレニング	前週の反省点などを改善、トーレニング
12		講義・演習	実技試験	試験対策 復習
13		講義・演習	後期の復習	後期に覚えたことを復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に取り組み期限内に提出	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ソングライティングゼミ 2 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宇津本直 紀
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1994年、DEENにドラムス・コーラス担当として加入。多くの作曲を手掛け、脱退後も作曲・プロデュース活動を行う。						
授業の学習 内容	楽曲制作のプロセス、作曲理論と実践、作詞理論と実践、劇伴音楽の作曲と制作、クリエイティブの方法論、トータルプロデュースから見た楽曲の役割を学ぶ。 課題を随時提出して「楽曲デモ」のクオリティーの向上をはかる。						
到達目標	映画・アニメ・ドラマ・ゲームで使用され、メジャーリリースされるクオリティーの楽曲の作詞・作曲・編曲・デモ制作ができるだけの知識とスキルの修得。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れ	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れについて振り返りレポートをまとめる。
2		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割口	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割について振り返りレポートをまとめる。
3		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れ	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れについて振り返りレポートをまとめる。
4		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？ について振り返りレポートをまとめる。
5		講義・演習	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ ベースラインとは？	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ベース ラインとは？について振り返りレポートをまとめる。
6		講義・演習	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音につ いて振り返りレポートをまとめる。
7		講義・演習	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの 構成音、およびテンション	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの構成音、およ びテンションについて振り返りレポートをまとめる。
8		講義・演習	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつ くり方	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつ くり方について振り返りレポートをまとめる。
9		講義・演習	作曲理論⑤劇伴について	作曲理論⑤劇伴について振り返りレポートを まとめる。
10		講義・演習	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方 法を学びます。	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方 法について振り返りレポートをまとめる。
11		講義・演習	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 前週学んだ楽曲分析の方法をつかってみんなで実際に楽曲を分析してみま す。また、楽曲分析の課題を指示します。	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 楽曲分析の課題に対して、レポートをまとめる。
12		講義・演習	楽曲分析の個別指導	次回テストに向けたデモ楽曲の制作
13		講義・演習	定期テスト	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ソングライティングゼミ 2 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	宇津本直 紀
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1994年、DEENにドラムス・コーラス担当として加入。多くの作曲を手掛け、脱退後も作曲・プロデュース活動を行う。						
授業の学習 内容	楽曲制作のプロセス、作曲理論と実践、作詞理論と実践、劇伴音楽の作曲と制作、クリエイティブの方法論、トータルプロデュースから見た楽曲の役割を学ぶ。 課題を随時提出して「楽曲デモ」のクオリティーの向上をはかる。						
到達目標	映画・アニメ・ドラマ・ゲームで使用され、メジャーリリースされるクオリティーの楽曲の作詞・作曲・編曲・デモ制作ができるだけの知識とスキルの修得。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れ	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れについて振り返りレポートをまとめる。
2		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割口	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割について振り返りレポートをまとめる。
3		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れ	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れについて振り返りレポートをまとめる。
4		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？について振り返りレポートをまとめる。
5		講義・演習	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ ベースラインとは？	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ベース ラインとは？について振り返りレポートをまとめる。
6		講義・演習	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音 について振り返りレポートをまとめる。
7		講義・演習	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの 構成音、およびテンション	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの構成音、およ びテンションについて振り返りレポートをまとめる。
8		講義・演習	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつ くり方	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつ くり方について振り返りレポートをまとめる。
9		講義・演習	作曲理論⑤劇伴について	作曲理論⑤劇伴について振り返りレポートを まとめる。
10		講義・演習	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方 法を学びます。	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方 法について振り返りレポートをまとめる。
11		講義・演習	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 前週学んだ楽曲分析の方法をつかってみんなで実際に楽曲を分析してみま す。また、楽曲分析の課題を指示します。	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 楽曲分析の課題に対して、レポートをまとめる。
12		講義・演習	楽曲分析の個別指導	次回テストに向けたデモ楽曲の制作
13		講義・演習	楽曲分析の個別指導・作曲スキルのまとめ	楽曲分析の個別指導・作曲スキルのまとめに ついて振り返り、レポートをまとめる。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	作編曲法Basic 1 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤井文司
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	音楽業界(J-POP)での多くのヒット曲と、プロデュース/アレンジの実績を持つ。						
授業の学習 内容	音楽理論を理解し、それぞれの理論に照らし合わせてたコード進行を構築しながらメロディーやアレンジの作成を行う。						
到達目標	音楽理論と作、編曲の関係を理解し楽曲制作時のスピードアップを測る。ファンデーション授業の理解をさらに深め、楽曲制作に活かせるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	編曲法の基本	編曲法の基本振り返りと自習。
2		講義・演習	ドラムパートのアレンジ	ドラムパートのアレンジ振り返りと自習。
3		講義・演習	ドラムパートのアレンジ課題の演習	ドラムパートのアレンジ課題の演習振り返りと自習。
4		講義・演習	ベースパートのアレンジ	ベースパートのアレンジ振り返りと自習。
5		講義・演習	ベースパートのアレンジ課題の演習	ベースパートのアレンジ課題の演習振り返りと自習。
6		講義・演習	コードの組み立と転回形について	コードの組み立と転回形について振り返りと自習。
7		講義・演習	コードの組み立と転回形課題の演習	コードの組み立と転回形課題の演習振り返りと自習。
8		講義・演習	キーボードパートのアレンジ	キーボードパートのアレンジ振り返りと自習。
9		講義・演習	キーボードパートの課題の演習	キーボードパートの課題の演習振り返りと自習。
10		講義・演習	スケール1メジャー	スケール1メジャー振り返りと自習。
11		講義・演習	スケール2マイナー	スケール2マイナー振り返りと自習。
12		講義・演習	アレンジリズムパート課題1	データの管理とポートフォリオ作成
13		講義・演習	アレンジインストゥルメント課題2	データの管理とポートフォリオ作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	作編曲法Basic 1 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	藤井文司
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	音楽業界(J-POP)での多くのヒット曲と、プロデュース/アレンジの実績を持つ。						
授業の学習 内容	音楽理論を理解し、それぞれの理論に照らし合わせてたコード進行を構築しながらメロディーやアレンジの作成を行う。						
到達目標	音楽理論と作、編曲の関係を理解し楽曲制作時のスピードアップを測る。ファンデーション授業の理解をさらに深め、楽曲制作に活かせるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ダイアトニックコードについて	ダイアトニックコードについて振り返りと自習。
2		講義・演習	モチーフとモチーフデベロップメントについて	モチーフとモチーフデベロップメントについて振り返りと自習。
3		講義・演習	ダイアトニックコードとメロディについて	ダイアトニックコードとメロディについて振り返りと自習。
4		講義・演習	ケーデンスについてについて	ケーデンスについてについて振り返りと自習。
5		講義・演習	ダイアトニックリハモニゼーションについて	ダイアトニックリハモニゼーションについて振り返りと自習。
6		講義・演習	セカンダリードミナントについて	セカンダリードミナントについて振り返りと自習。
7		講義・演習	エクステンデッドミナントについて	エクステンデッドミナントについて振り返りと自習。
8		講義・演習	サブファイブセブンについて	サブファイブセブンについて振り返りと自習。
9		講義・演習	その他のダイアトニックローレティッドについて	その他のダイアトニックローレティッドについて振り返りと自習。
10		講義・演習	マイナーキーハーモニーについて	マイナーキーハーモニーについて振り返りと自習。
11		講義・演習	ディミニッシュ7コードについて	ディミニッシュ7コードについて振り返りと自習。
12		講義・演習	アヴェイラブルノートスケールについて	アヴェイラブルノートスケールについて振り返りと自習。
13		講義・演習	課題曲提出	データの管理とポートフォリオ作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンスミュージックアナライズ 1 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横野康平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	E-girls、AAA、2PM、ジャニーズWEST、KAT-TUN、KARA、後藤真希、May J.、田村ゆかり等、多数の著名なアーティストに楽曲提供を行なっている作曲家、アレンジャー。2015年以降講師としても活躍。						
授業の学習 内容	①世界中に存在するダンスミュージックの技法を分析し各自技のレパートリーに取り入れコンペで目立つ楽曲を出せるようにするのが目的。②プリプロやセルフプロデュースと関連づけコンペ対策にする。③各ジャンルに収まらない作品作りに努めてもらいたい。③ビルボードランキングやBeatport、YouTubeなどから技法を見つけ出し作曲やマニピレート、トラックメイキングに必要なミックス技法を研究分析し実際にその技法を使ってコピーまたはオリジナルを作る。						
到達目標	学んだ技法を自由自在に各自の作品へ取り入れることが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) ※1コーラステストのクオリティ:70% 音色作りのクオリティ:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Electro House-ダンスミュージックの基本的なオートメー書などを理解し使えるようになる事	Electro House-ダンスミュージックの基本的なオートメー書などを理解し使えるようになる事 振り返りと自習。
2		講義・演習	Electro Pop-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる事	Electro Pop-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる事 振り返りと自習。
3		講義・演習	FrenchHouse-フィルターを多用したシーン展開が出来るようになる事	FrenchHouse-フィルターを多用したシーン展開が出来るようになる事 振り返りと自習。
4		講義・演習	Complexro House-音色又はフレーズのコーラージュで楽曲を制作出来るようになる事	Complexro House-音色又はフレーズのコーラージュで楽曲を制作出来るようになる事 振り返りと自習。
5		講義・演習	Drum&Bass-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	Drum&Bass-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
6		講義・演習	DubStep-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	DubStep-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
7		講義・演習	OldSchoolHipHop-用意したサンプルを使い制作出来るようになる	OldSchoolHipHop-用意したサンプルを使い制作出来るようになる 振り返りと自習。
8		講義・演習	DirtyTrap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	DirtyTrap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
9		講義・演習	DeepTrap又はChill Trap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	DeepTrap又はChill Trap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
10		講義・演習	GlitchHop-スイングしたビートを作れるようになる	GlitchHop-スイングしたビートを作れるようになる 振り返りと自習。
11		講義・演習	2step-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	2step-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
12		講義・演習	TropicalHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	TropicalHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
13		講義・演習	前期で学んだ事を使って①コーラス制作を約180分完了させる事	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンスミュージックアナライズ 1 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	横野康平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	E-girls、AAA、2PM、ジャニーズWEST、KAT-TUN、KARA、後藤真希、May J.、田村ゆかり等、多数の著名なアーティストに楽曲提供を行なっている作曲家、アレンジャー。2015年以降講師としても活躍。						
授業の学習 内容	①世界中に存在するダンスミュージックの技法を分析し各自技のレパートリーに取り入れコンペで目立つ楽曲を出せるようにするのが目的。②プリプロやセルフプロデュースと関連づけコンペ対策にする。③各ジャンルに収まらない作品作りに努めてもらいたい。④ビルボードランキングやBeatport、YouTubeなどから技法を見つけ出し作曲やマニピレート、トラックメイキングに必要なミックス技法を研究分析し実際にその技法を使ってコピーまたはオリジナルを作る。						
到達目標	学んだ技法を自由自在に各自の作品へ取り入れることが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) ※1コーラステストのクオリティ:70% 音色作りのクオリティ:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	FutureHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	FutureHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
2		講義・演習	Kawaii bass-kawaii音をふんだんに使い解説を元に実施に作ってみる	Kawaii bass-kawaii音をふんだんに使い解説を元に実施に作ってみる 振り返りと自習。
3		講義・演習	Future bass-切ないコード進行の分析を行った後Dropで使われている手法を習得する	Future bass-切ないコード進行の分析を行った後Dropで使われている手法を習得する 振り返りと自習。
4		講義・演習	Wave(ジャンル)の習得 - 変化するPadやワイドなベースなど分析し参考曲を元に作ってみる	Wave(ジャンル)の習得 - 変化するPadやワイドなベースなど分析し参考曲を元に作ってみる 振り返りと自習。
5		講義・演習	Lofisound-LofiHipHopなどに使われる手法を習得し作品をつくってみる	Lofisound-LofiHipHopなどに使われる手法を習得し作品をつくってみる 振り返りと自習。
6		講義・演習	EuroBteat-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	EuroBteat-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
7		講義・演習	TropicalHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	TropicalHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
8		講義・演習	2000年代初期RnB。参考曲を分析し実際作ってみる	2000年代初期RnB。参考曲を分析し実際作ってみる 振り返りと自習。
9		講義・演習	ElectroSwing-BigBandSampleなどをサンプリングし説明を参考にし実際に作ってみる	ElectroSwing-BigBandSampleなどをサンプリングし説明を参考にし実際に作ってみる 振り返りと自習。
10		講義・演習	ElectroJazz - Anomalieなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる	ElectroJazz - Anomalieなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる 振り返りと自習。
11		講義・演習	ElectroJazz - FKJなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる	ElectroJazz - FKJなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる 振り返りと自習。
12		講義・演習	2019年Billboard Ranking top30内の楽曲と分析と技術の習得	2019年Billboard Ranking top30内の楽曲と分析と技術の習得 振り返りと自習。
13		講義・演習	後期で学んだ事を使って1コーラスdemoを180分で完了させる	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	シンセサイジング&DTM Advance 1 (3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿瀬文彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	作曲家、マニピュレーター、ギタリスト。2010年プロデューサー佐久間正英に見い出されエレクトロニカ・ユニットCajokでデビュー。現在はCMや映画音楽に携わり2020年最新作はボカリスエ トCM「ボカリNEO合唱ドキュメンタリー完全版」音楽担当。サンレコ誌では製品レビュー執筆も多数手がける。						
授業の学習 内容	1.複数のDAWを使いサウンド構築でのレベルの高い技法を身につける。 2.業界標準音源パッケージNative Instruments社 KOMplete 12 ULTIMATE収録の音源&シンセの使い方をマスター。 3.クリエイターとしての楽曲のミキシング・テクニックを身につける。						
到達目標	学習したテクニックを取り入れ、楽曲にインパクト、力強さ、説得力を与え、多くの人の耳に届くサウンドになる。クリエイターと して作曲からミックスまでの仕事を受けれるようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) * 楽曲(30秒ほど)のクオリティ: 70% ミキシングのバランス: 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	講師制作の楽曲プロジェクトを公開し音源やシンセをどのように使ってるか解説。	左記振り返りと復習
2		講義・演習	シンセ、プラグインのオートメーション・テクニック	シンセ、プラグインのオートメーション・テクニック。振り返りと自習。
3		講義・演習	ディレイ、リバーブの効果的な使い方	ディレイ、リバーブの効果的な使い方。振り返りと自習
4		講義・演習	アルペジエーターを使用したシンセフレーズの組み立て	アルペジエーターを使用したシンセフレーズの組み立て。振り返りと自習。
5		講義・演習	MASSIVE Xの仕組みを学ぶ	NI MASSIVE Xの仕組みを学ぶ。振り返りと自習
6		講義・演習	MASSIVE Xで目的の音色を作れるようにする	MASSIVE Xで目的の音色を作れるようにする。振り返りと自習。
7		講義・演習	RK-01でエレクトロニックなベースとリズムを組み立てる	RK-01でエレクトロニックなベースとリズムを組み立てる。振り返りと自習。
8		講義・演習	STRUMMED ACOUSTIC 2を使ったアコギの打ち込み	STRUMMED ACOUSTIC 2を使ったアコギの打ち込み。振り返りと自習。
9		講義・演習	ELECTRIC SUNBURSTを使ったエレキギターの打ち込み	ELECTRIC SUNBURSTを使ったエレキギターの打ち込み。振り返りと自習。
10		講義・演習	SESSION STRINGS PRO 2を使ったストリングスの打ち込み	SESSION STRINGS PRO 2を使ったストリングスの打ち込み。振り返りと自習。
11		講義・演習	RISE & HITを使用し楽曲にリバーブ音とアタック音を加えて楽曲にインパクトを与える	RISE & HITを使用しリバーブ音とアタック音を加えて楽曲にインパクトを与える。振り返りと自習。
12		講義・演習	EVOLVEのループを使用しエレクトロニックなリズムの構築	EVOLVEのループを使用しエレクトロニックなリズムの構築。振り返りと自習。
13		講義・演習	講師が用意するデータを元に曲の構築	試験対策・復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	シンセサイジング&DTM Advance 1 (4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	阿瀬文彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	作曲家、マニピュレーター、ギタリスト。2010年プロデューサー佐久間正英に見い出されエレクトロニカ・ユニットCajokでデビュー。現在はCMや映画音楽に携わり2020年最新作はボカリスエツトCM「ボカリNEO合唱ドキュメンタリー完全版」音楽担当。サンレコ誌では製品レビュー執筆も多数手がける。						
授業の学習 内容	1.複数のDAWを使いサウンド構築でのレベルの高い技法を身につける。 2.業界標準音源パッケージNative Instruments社 KOMplete 12 ULTIMATE収録の音源&シンセの使い方をマスター。 3.クリエイターとしての楽曲のミキシング・テクニックを身につける。						
到達目標	学習したテクニックを取り入れ、楽曲にインパクト、力強さ、説得力を与え、多くの人の耳に届くサウンドになる。クリエイターとして作曲からミックスまでの仕事を受けれるようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) * 楽曲(30秒ほど)のクオリティ: 70% ミキシングのバランス: 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	EMOTIVE STRINGSを使用したストリングスのレガート・フレーズの打ち込み	EMOTIVE STRINGSを使用したストリングスのレガート・フレーズの打ち込み、振り返りと自習。
2		講義・演習	ACTION STRINGSとキースイッチを組み合わせたストリングス・パターン組み立て	ACTION STRINGSとキースイッチを組み合わせたストリングス・パターン組み立て、振り返りと自習。
3		講義・演習	DAMAGEで映画音楽のような迫力あるリズムを構築	DAMAGEで映画音楽のような迫力あるリズムを構築、振り返りと自習。
4		講義・演習	シネマティック音源THRILLを使用したSE制作	THRILLを使用したSE制作、振り返りと自習。
5		講義・演習	音源ではなく生ドラム素材(講師が用意)の処理を学ぶ	音源ではなく生ドラム素材(講師が用意)の処理を学ぶ、振り返りと自習。
6		講義・演習	オーケストラ音源SYMPHONY ESSENTIALSを学ぶ1	SYMPHONY ESSENTIALSを学ぶ1、振り返りと自習。
7		講義・演習	オーケストラ音源SYMPHONY ESSENTIALSを学ぶ2	SYMPHONY ESSENTIALSを学ぶ2、振り返りと自習。
8		講義・演習	映像音楽を制作する際のDAWやシンセの使い方を学ぶ	映像音楽を制作する際のDAWやシンセの使い方を学ぶ、振り返りと自習。
9		講義・演習	クリエイターとして必要なミックス・テクニックを学ぶ	クリエイターとして必要なミックス・テクニックを学ぶ、振り返りと自習。
10		講義・演習	クリエイターとしてデモ提出で大切なマスタリングを学ぶ	クリエイターとしてデモ提出で大切なマスタリングを学ぶ、振り返りと自習。
11		講義・演習	各DAWの音質を聞き比べて特性を理解する	自作楽曲のバラデータ(全てオーディオで)があれば持参してください
12		講義・演習	講師が用意するデータを元に曲の構築	試験対策・復習
13		講義・演習	シンサイジングで身につけた技術を活用して1コーラスのインスト音源を作成して提出	シンサイジングで身につけた技術を活用して1コーラスのインスト音源を作成について、振り返りレポート作成。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇伴音楽制作ゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	RUI
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	主に短編映画、ゲーム、コンテンツなど楽曲提供を中心に活動する。 アーティストの楽曲の編曲なども手掛ける。						
授業の学習 内容	映画、CM、ゲーム業界の中に求められている音楽スキルを身につけ、様々な音楽ジャンルの知識と感性を磨き、在校中により完成度の高い作品を作るのが目標です。 前期は、作曲編曲技法、様々な音楽ジャンルの基本知識を中心に、後期は映画、CMなどコンテンツに合わせて実践する方針で行います。						
到達目標	・歌物と異なる作曲編曲技法の全般、打ち込みのコツからミックスまで、一人作業の最低限必要なスキルを身につける。・文字や物から生み出すイメージで、感情移入させる曲を作る。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(課題曲提出70% 筆記30%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	劇伴概論	小テスト(採点しない)
2		講義・演習	モード作曲法 I	8-16小節の課題
3		講義・演習	メロディー作り方	講義の内容を理解し、曲を分析する
4		講義・演習	オブリガート	オブリガートの重要性和役割を理解し、応用できるように
5		講義・演習	モード作曲法 II	モード作曲法Iの課題をリメイク
6		講義・演習	アンビエント音楽	選曲課題
7		講義・演習	ホラー系音楽	選曲課題
8		講義・演習	リハーモナイズ	課題提出
9		講義・演習	変奏作曲技法	課題提出
10		講義・演習	対位法(基礎編) I	プリント復習
11		講義・演習	対位法(基礎編) II	課題提出
12		講義・演習	弦楽アレンジ I	プリント復習
13		講義・演習	弦楽アレンジ II	課題提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント(授業内容の順番を変える可能性があります)。				

科目名	劇伴音楽制作ゼミ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	RUI
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	主に短編映画、ゲーム、コンテンツなど楽曲提供を中心に活動する。 アーティストの楽曲の編曲なども手掛ける。						
授業の学習 内容	映画、CM、ゲーム業界の中に求められている音楽スキルを身につけ、様々な音楽ジャンルの知識と感性を磨き、在校中により完成度の高い作品を作るのが目標です。 前期は、作曲編曲技法、様々な音楽ジャンルの基本知識を中心に、後期は映画、CMなどコンテンツに合わせて実践する方針で行います。						
到達目標	・歌物と異なる作曲編曲技法の全般、打ち込みのコツからミックスまで、一人作業の最低限必要なスキルを身につける。・文字や物から生み出すイメージで、感情移入させる曲を作る。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(課題曲提出70% 筆記30%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ブルース	課題提出
2		講義・演習	ゲーム音楽	選曲課題
3		講義・演習	オーケストレーション作曲技法実技	プリント復習
4		講義・演習	ゲームオーケストレーション	課題提出
5		講義・演習	CM、コンテンツ音楽制作	映像素材を基にした劇伴作品を提出
6		講義・演習	ジングル、サウンドロゴ	課題提出(自由)
7		講義・演習	映画音楽制作 I	選曲課題
8		講義・演習	映画音楽制作 II	課題提出
9		講義・演習	標題音楽	プリント復習
10		講義・演習	カルテットI or ドラマCD制作I	特別講義。生徒の意向で内容を決める
11		講義・演習	カルテットII or ドラマCD制作II	デモ提出
12		講義・演習	カルテットIII or ドラマCD制作III	レコーディング / アルバム制作
13		講義・演習	課題発表	感想、学んだこと
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント(授業内容の順番を変える可能性があります)				

科目名	J-POP Ensembleゼミ (5)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	酒井俊光
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2009年よりTOSHI、高橋優、ケラケラなどのレコーディングやライブサポートのギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業は、現代のJ-Pop演奏で頻繁に用いられる同期音源(クリックや同期トラック)を使用した演奏において、的確かつ自然に演奏を行う能力を養成することを目的とする。各種同期音源を実際に使用し、クリックを聞きながらバンドメンバーと協調して演奏する能力を身につける。						
到達目標	・クリックを聴きながら正確なリズムキープができる ・同期音源と生演奏を自然に融合させ、違和感なく演奏できる ・バンド全体でのリズム・グルーヴの共有を高める						
評価方法と基準	・授業参加度(出席・演習への積極性):40% ・中間発表演奏:20% ・最終発表演奏:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業オリエンテーション、同期音源とは何か	同期音源についてレポート作成
2		講義・演習	クリックトラックに合わせてのリズムトレーニング	リズムトレーニングを実施
3		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①(前半)	楽曲練習
4		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①(後半)	楽曲練習
5		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②(前半)	楽曲練習
6		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②(後半)	楽曲練習
7		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③(前半)	楽曲練習
8		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③(後半)	楽曲練習
9		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④(前半)	楽曲練習
10		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④(後半)	楽曲練習
11		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤(前半)	楽曲練習
12		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤(後半)	楽曲練習
13		講義・演習	前期総括演奏	楽曲練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	J-POP Ensembleゼミ (6)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	酒井俊光
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2009年よりTOSHI、高橋優、ケラケラなどのレコーディングやライブサポートのギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業は、現代のJ-Pop演奏で頻繁に用いられる同期音源(クリックや同期トラック)を使用した演奏において、的確かつ自然に演奏を行う能力を養成することを目的とする。各種同期音源を実際に使用し、クリックを聞きながらバンドメンバーと協調して演奏する能力を身につける。						
到達目標	・クリックを聴きながら正確なリズムキープができる ・同期音源と生演奏を自然に融合させ、違和感なく演奏できる ・バンド全体でのリズム・グルーヴの共有を高める						
評価方法と基準	・授業参加度(出席・演習への積極性):40% ・中間発表演奏:20% ・最終発表演奏:40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	後期オリエンテーション・課題曲の提示	課題曲をまとめる
2		講義・演習	楽曲内でのテンポ・拍子の変更への対応(基礎編)	楽曲練習
3		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①(前半)	楽曲練習
4		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習①(後半)	楽曲練習
5		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②(前半)	楽曲練習
6		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習②(後半)	楽曲練習
7		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③(前半)	楽曲練習
8		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習③(後半)	楽曲練習
9		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④(前半)	楽曲練習
10		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習④(後半)	楽曲練習
11		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤(前半)	楽曲練習
12		講義・演習	同期音源を取り入れた演奏練習⑤(後半)	楽曲練習
13		講義・演習	最終発表フィードバック・授業のまとめ	楽曲練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスExpert (5)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	HIDE (大久保英 憲)
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2003年ミクスチャーバンドのDJとしてキャリアスタート。トラックメイカー／プロデューサーとして国内外アーティストへの楽曲提供やプロデュースをはじめ、日本無形文化財【三社大祭】祭囃子の制作からプロスポーツチーム(NPB、Vリーグ)の演出楽曲、企業の広告楽曲とマルチな才能を発揮し現在に至る。						
授業の学習 内容	実践的な現場を意識した選曲の組み立て方や考え方に加え、仕事の取り方、仕事を取るためのコミュニケーション能力向上を目指す。 また、卒業後に始まる新社会人としての基礎知識、マナー、礼節を学ぶ。アーティストとしての自分とは別に、クリエイターとしての自分を持つ事も学ぶ。						
到達目標	自分が作りたい曲を作るのがアーティストであり、クライアントが作りたい曲を作るのがクリエイターである事を認識する事。 前期授業前半のオリエンテーションと個人面談にて、本人が目指す方向性を元に到達目標の設定を共に行う。 その後各自が2025年度前期目標を授業内で発表し、講師生徒全員で共有をする。						
評価方法と基準	各自の目標達成度を評価基準とする。 また出席率も評価基準とするため、登校したいと思う授業を行いDOを防ぐ環境作りを行う。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション・個人面談	卒業後を想定した授業への取り組み意識を再確認する
2		講義・演習	・MIX講義 ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
3		講義・演習	・MIX講義・演習(EQ解説) ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
4		講義・演習	・MIX講義・演習(EQ解説) ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
5		講義・演習	・MIX講義・演習(コンプ解説) ・コミュニケーション能力向上授業	コミュニケーションの必要性、重要性を再認識して、今後の行動に活かしていく。
6		講義・演習	・MIX講義・演習(コンプ解説) ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
7		講義・演習	・MIX講義・演習(MIXトラックについて) ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
8		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
9		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・源泉徴収税、請求書作成等書類作成講義	自分の請求書フォーマットを完成させる
10		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
11		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
12		講義・演習	・アーティストとクリエイターの違い ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
13		講義・演習	・後期授業の目標発表 ・前期目標達成の確認・夏休み中の目標設定	夏休み中の目標設定を行い意識改革をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内で学んだ技術、内容について復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	DJパフォーマンスExpert (6)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	HIDE (大久保英 憲)
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	2003年ミクスチャーバンドのDJとしてキャリアスタート。トラックメイカー／プロデューサーとして国内外アーティストへの楽曲提供やプロデュースをはじめ、日本無形文化財【三社大祭】祭囃子の制作からプロスポーツチーム(NPB、Vリーグ)の演出楽曲、企業の広告楽曲とマルチな才能を発揮し現在に至る。						
授業の学習 内容	実践的な現場を意識した選曲の組み立て方や考え方に加え、仕事の取り方、仕事を取るためのコミュニケーション能力向上を目指す。 また、卒業後に始まる新社会人としての基礎知識、マナー、礼節を学ぶ。アーティストとしての自分とは別に、クリエイターとしての自分を持つ事も学ぶ。						
到達目標	自分が作りたい曲を作るのがアーティストであり、クライアントが作りたい曲を作るのがクリエイターである事を認識する事。 前期授業前半のオリエンテーションと個人面談にて、本人が目指す方向性を元に到達目標の設定を共に行う。 その後各自が2025年度前期目標を授業内で発表し、講師生徒全員で共有をする。						
評価方法と基準	各自の目標達成度を評価基準とする。 また出席率も評価基準とするため、登校したいと思う授業を行いDOを防ぐ環境作りを行う。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション・個人面談	卒業後を想定した授業への取り組み意識を再確認する
2		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
3		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
4		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
5		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
6		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
7		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
8		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
9		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
10		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
11		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
12		講義・演習	・既存オリジナル曲の再MIX ・実践的な現場感重視のDJプレイ演習・講義	授業内で学んだ技術、内容について復習する
13		講義・演習	・後期目標達成の確認 ・卒業後の目標設定	卒業後の目標設定を行い意識改革をする。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内で学んだ技術、内容について復習する	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	VT advance(5)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	相澤なな み 潤豊 橋本美沙
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ゴスペルグループSOULMATICSのメンバーとして多くのアーティスト・ミュージシャンと共演し、音楽活動を行う。						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの応用と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる口	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック	
2		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする	
3		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック	
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする	
5		講義・演習	高度な歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC～Gまでを歌い動画チェックする	
6		講義・演習	高度な歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする	
7		講義・演習	高度な歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする	
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする	
9		講義・演習	高度な歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする	
10		講義・演習	高度な歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする	
11		講義・演習	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC～上のCまでを歌い動画チェックする	
12		講義・演習	アカペラアンサンブルを学び実践できる口	アカペラアンサンブルを動画チェックする	
13		講義・演習	試験	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	VT advance(6)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	相澤なな み 潤豊 橋本美沙
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ゴスペルグループSOULMATICSのメンバーとして多くのアーティスト・ミュージシャンと共演し、音楽活動を行う。						
授業の学習 内容	ヴォーカリストで活躍していく為には幅広い表現力が必要となる。本講義ではヴォーカリスにおける応用とそのスキルを学び、実際に表現に繋げていけるようにする。						
到達目標	音楽業界で活躍していく為に必要なヴォーカリストの応用と活用方法を習得し実践できるようになる。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを実践できる	音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを動画チェック
2		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェックする
3		講義・演習	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う	歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを動画チェック
4		講義・演習	メロディーC～Gまでを歌い実践できる。	メロディーC～Gまでを動画チェックする
5		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符のメロディーC ～Gまでを歌い実践できる。	歌唱→4分音符のメロディーC ～Gまでを歌い動画チェックする
6		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
7		講義・演習	高度な歌唱歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い実践できる。。	歌唱→4分音符・2分音符のメロディーC～Aを歌い動画チェックする
8		講義・演習	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
9		講義・演習	高度な歌唱歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→全音符・2分音符・付点2分音符のメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
10		講義・演習	高度な歌唱歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
11		講義・演習	高度な歌唱歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い実践できる。	歌唱→タイ・8分音符を含めたメロディーC ～上のC までを歌い動画チェックする
12		講義・演習	高度な歌唱アカペラアンサンブルを学び実践できる	アカペラアンサンブルを動画チェックする
13		講義・演習	試験	これまでの動画を確認し、成果をレポートにまとめる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			ヴォーカルに必要なスキルの習得するための自習を行いまたチェックする、週4時間をかける。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis (5)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	クリス ジャーガン セン
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等でギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Bluesのアンサンブル第1週目。12小節ブルースソング2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Bluesのアンサンブル第2週目。12小節ブルースソング2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
7		講義・演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のスタイル&アナライズ。発表会担当曲決め	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
13		講義・演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble Style&Analysis (6)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	クリス ジャーガン セン
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等でギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組む、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。60年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。70年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。80年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。90年代Rock2曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
7		講義・演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1) のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit3課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit4課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit5課題曲のスタイル&アナライズ。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
13		講義・演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble (5)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	クリス ジャーガン セン
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等でギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Bluesのアンサンブル第1週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Bluesのアンサンブル第2週目。12小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Bluesのアンサンブル第3週目。8小節ブルースソング2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Bluesのアンサンブル第4週目。マイナーブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Bluesのアンサンブル第5週目。スローブルース2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Bluesのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
7		講義・演習	Soulのアンサンブル第1週目。簡単なSoulナンバーStand By Meのアンサンブル	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Soulのアンサンブル第2週目。SoulナンバーUnit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Soulのアンサンブル第3週目。SoulナンバーUnit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Soulのアンサンブル第4週目。SoulナンバーUnit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Soulのアンサンブル第5週目。SoulナンバーUnit5のアンサンブル。発表会担当曲決め。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Soulのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習
13		講義・演習	次回Rockアンサンブルに向けた課題曲のアナライズとシンプルな曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	CPM Ensemble (6)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	クリス ジャーガン セン
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	世界三大ギタリストの一人であるJEFF BECKのトリビュートアルバムへの参加など、数多くの世界的プレイヤーとのセッション、レコーディング等でギタリストとして活躍、国内ではシンガーソングライター「miwa」のバンドに参加。						
授業の学習 内容	Contemporary Popular Music Ensemble。6週間ごとにジャンル別アンサンブルを行っていく。 1年を通じて、①BLUES→②SOUL→③ROCK→④FUNKと進み、毎週2曲ずつ課題曲が更新されていきます。 各ジャンルに特化した講師による指導が行われ、6週目は発表会形式のアウトプットを実施することで本番経験を踏んでいく。 ジャンル別の奏法を学びながら、バンドで演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とします。						
到達目標	BLUES、SOUL、ROCK、FUNK等の楽曲をアンサンブルを通して表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Rockのアンサンブル第1週目。50年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
2		講義・演習	Rockのアンサンブル第2週目。60年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
3		講義・演習	Rockのアンサンブル第3週目。70年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
4		講義・演習	Rockのアンサンブル第4週目。80年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
5		講義・演習	Rockのアンサンブル第5週目。90年代Rock2曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
6		講義・演習	Rockのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
7		講義・演習	Funkのアンサンブル第1週目。簡単なFunk Tune (Unit1) のアンサンブルと次回曲の分析	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
8		講義・演習	Funkのアンサンブル第2週目。Funk Tune Unit2課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
9		講義・演習	Funkのアンサンブル第3週目。Funk Tune Unit3課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
10		講義・演習	Funkのアンサンブル第4週目。Funk Tune Unit4課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
11		講義・演習	Funkのアンサンブル第5週目。Funk Tune Unit5課題曲のアンサンブル。	授業で行った楽曲の復習と発表会担当曲の練習
12		講義・演習	Funkのアンサンブルの発表会を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点克服に向けて練習する。
13		講義・演習	1年間で学んだ楽曲でセッションを行う。	授業で行った楽曲の復習と次回曲の予習
14		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコアを確認して、授業前に個人練習しておく。各ジャンルの有名アーティストや有名曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	JIYEON
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2011年よりダンサーとして活躍。K-POP Danceの海外公演にも参加し、日本ではアイドルの振り付けやダンス指導						
授業の学習 内容	基本的なダンススキル(ストレッチ・アイソレーション・筋カトレーニング)を継続しつつ、フォーメーション・構成理解・表現力を強化する。 K-POPのカバーダンスを通して、グループパフォーマンスおよび魅せ方(表情・視線・強弱)を学ぶ。						
到達目標	・振付を正確に再現できるだけでなく、楽曲のコンセプトに応じた表現ができる ・グループ内での立ち位置・フォーメーションを理解し、周囲と連動したパフォーマンスができる ・観客を意識した踊りができる						
評価方法と基準	課題の振り付けがしっかり覚えられている。ただ振付を覚えるだけではなく曲の雰囲気や歌詞などを理解して目を引くパフォーマンスが出来ているかどうか。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→ATTITUDE/IVE サビ部分
2		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→ATTITUDE/IVE イン트로～サビ前
3		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→IF I SAY, I LOVE YOU/BOYNEXTDOOR サビ部分
4		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→IF I SAY, I LOVE YOU/BOYNEXTDOOR イン트로～サビ前
5		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Blue Valentine/NMIXX サビ部分
6		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→Blue Valentine/NMIXX イン트로～サビ前
7		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
8		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
9		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
10		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
11		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
12		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(直前で発表)
13		講義・演習	試験	試験で踊る曲の練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	K-POP(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	JIYEON
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2011年よりダンサーとして活躍。K-POP Danceの海外公演にも参加し、日本ではアイドルの振り付けやダンス指導						
授業の学習 内容	K-POPダンスの完成度を高め、セルフディレクション(自分で作品を作る力)を養う。 振付の構成・演出・カメラ映え・ステージングまで含めた総合的なパフォーマンス力を習得する。						
到達目標	K-POPダンスの完成度を高め、セルフディレクション(自分で作品を作る力)を養う。 振付の構成・演出・カメラ映え・ステージングまで含めた総合的なパフォーマンス力を習得する。						
評価方法と基準	課題の振り付けがしっかり覚えられている。ただ振付を覚えるだけではなく曲の雰囲気や歌詞などを理解して目を引くパフォーマンスが出来ているかどうか。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
2		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
3		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
4		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
5		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
6		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
7		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
8		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
9		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
10		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
11		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
12		講義・演習	ストレッチ、筋カトレーニング、アイソレーション、課題の振付	課題曲→未定(前授業までに発表)
13		講義・演習	試験	試験で踊る曲の練習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock Ensemble (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	山田 豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ギタリストとして、30年以上活動し、増田恵子(ピンクレディ)、chihiRo-Decoy(JiLL-Decoy association)、Lapis Lazuli、林部智史などのアーティストのレコーディングやライブサポートを務める。						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	50年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	初回アンサンブル曲について譜面と音源を参考に予習しておく。FUNKの名曲を調べてノートにまとめる。
2		講義・演習	50年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
3		講義・演習	60年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
4		講義・演習	60年代Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
5		講義・演習	70年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
6		講義・演習	70年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
7		講義・演習	70年代中期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
8		講義・演習	70年代中期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
9		講義・演習	70年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
10		講義・演習	70年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
11		講義・演習	80年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
12		講義・演習	80年代初期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			楽器やヴォーカルのROCKスタイルについて理解し、授業の復習と次週課題曲の予習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Rock Ensemble (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	山田 豪
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	ギタリストとして、30年以上活動し、増田恵子(ピンクレディ)、chihiRo-Decoy(JiLL-Decoy association)、Lapis Lazuli、林部智史などのアーティストのレコーディングやライブサポートを務める。						
授業の学習 内容	楽器のみでのアンサンブルを行ってもらい楽器の可能性や演奏することの楽しさを知ってもらう。 楽譜の読書きや理論などのパート毎に行ってきた内容を実践的に使う場とする。						
到達目標	各パートジャンルが分かれている曲を内容に沿った演奏ができることを目標とする。 ソロが弾けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	80年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
2		講義・演習	80年代後期Rockの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
3		講義・演習	90年代初期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
4		講義・演習	90年代初期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
5		講義・演習	90年代中期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
6		講義・演習	90年代後期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
7		講義・演習	90年代後期Soul&POPSの課題曲を分析しアンサンブルを行う。	授業内で気づいた問題点についての見直しと次回に向けての予習を行う。	
8		講義・演習	イベント発表に向けた課題曲についてアンサンブルを行う。	バンド練習を行う。バンドミーティングを行い、制作物の作成を進める。	
9		講義・演習	楽曲にあった衣装を決め、パフォーマンスを考え、担当曲のアンサンブルを実践する。	バンド練習を行う。バンドのアー写を撮り、更に制作物の作成を進める。	
10		講義・演習	MC、コーラスを踏まえ、担当曲のアンサンブルを実践する。	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。録音してみる。	
11		講義・演習	数十バンド出演のショーとして転換、セッティングを考慮し、パフォーマンスを実践する。発表会に向けたリハーサルをPAや照明スタッフと共に進めていく。	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。セッティングを繰り返し行い、音質の向上を目指す。PA、照明スタッフとの関係性を理解し、打合せ等を行い、協同作業で進めていく事の理解を深めていく。	
12		講義・演習	映像撮影をシミュレートし、パフォーマンスを実践する。発表会に向けた最終リハーサルをPAや照明スタッフと共に進めていく。	バンド練習を行い、クオリティを高めていく。映像撮影してみる。最終リハーサルで気づいたことを記録しておく。改善していく。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			楽器やヴォーカルのROCKスタイルについて理解し、授業の復習と次週課題曲の予習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Funk Ensemble (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小寺良太
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1997年よりバンド「メロディオンズ」のメンバーとして活動しながらサポートドラム、ドラムチューナーとしての活動を開始。バンド脱退後も様々なアーティストのサポート、レコーディング、ドラムテックとして活動中。						
授業の学習 内容	ジャンル別アンサンブル授業の1つとして、FUNK楽曲を課題としたアンサンブルを行う。 課題曲は2週間続きで行い、ダンスブルなFUNK楽曲を演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とする。 事前に提示された楽曲資料(音源、譜面、歌詞)を元に予習準備し、授業内ではバンド全体で合わせることを基本とします。 前期終わりには中間発表、年度終わりには卒業制作展での発表につながります。						
到達目標	FUNK及び、FUNKに影響を受けた楽曲を各パートが表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	初回授業から中間発表までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	課題曲Unit1のアンサンブル。2010年代のFUNKから入り、FUNKの楽しさを知る。	Unit1の復習。FUNKの名曲を調べる
2		講義・演習	課題曲Unit1のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	Unit2の予習。FUNKの重要な要素となるリズムを分析する。次回の課題曲の予習をする。
3		講義・演習	課題曲Unit2のアンサンブル。難易度の低いFUNK曲でシンプルなノリを重視する。	Unit2の復習。ルーツとなるジャンルを検証する
4		講義・演習	課題曲Unit2のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	次回Unit3の課題曲の予習をする。
5		講義・演習	課題曲Unit3のアンサンブル。ディスコミュージックを課題曲にダンスミュージックの楽しさを知る。	Unit3の復習。FUNKの名曲を調べ、視聴する。
6		講義・演習	課題曲Unit3のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit4の課題曲の予習
7		講義・演習	課題曲Unit4のアンサンブル。1980年代に発祥したFUNKの名曲を学ぶ。	Unit4の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。
8		講義・演習	課題曲Unit4のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit5の課題曲の予習
9		講義・演習	課題曲Unit5のアンサンブル。1970年代に発祥したFUNKの名曲を学ぶ。	Unit5の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。
10		講義・演習	課題曲Unit5のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	次回Unit6の課題曲の予習
11		講義・演習	課題曲Unit6のアンサンブル。難易度の高いFUNK曲にチャレンジする。	Unit6の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。
12		講義・演習	課題曲Unit6のアンサンブル。FUNKの名曲を演奏し、グルーヴする感覚を養う。	中間発表に向けて練習する。
13		講義・演習	前期のまとめとして中間発表を行う。	発表会での演奏について検証し、問題点を克服するべく練習につなげる。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。FUNK曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Funk Ensemble (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小寺良太
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1997年よりバンド「メロディオンズ」のメンバーとして活動しながらサポートドラム、ドラムチューナーとしての活動を開始。バンド脱退後も様々なアーティストのサポート、レコーディング、ドラムテックとして活動中。						
授業の学習 内容	ジャンル別アンサンブル授業の1つとして、FUNK楽曲を課題としたアンサンブルを行う。 課題曲は2週間続きで行い、ダンスブルなFUNK楽曲を演奏することの楽しさを知り、リズムの大切さ、グルーヴ感、音量調整、サウンド作り、バンドコミュニケーション、パフォーマンスを養っていきます。さらには、レパートリーを持つことで、将来現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を理解する場とする。 事前に提示された楽曲資料(音源、譜面、歌詞)を元に予習準備し、授業内ではバンド全体で合わせることを基本とします。 前期終わりには中間発表、年度終わりには卒業制作展での発表につながります。						
到達目標	FUNK及び、FUNKIに影響を受けた楽曲を各パートが表現できるようになる。また、リズム感、グルーヴ感、パフォーマンス力を向上し、バンドとして一体感を持って表現するスキルを身につける。さらには、主体性を持ってリハーサルに取り組み、メンバー同士でコミュニケーションを取りながら楽曲全体のクオリティを向上させる意識と行動力を持つことを目標とします。						
評価方法と基準	卒業制作展までの個々の成長度を以下の項目を基準にして採点を行う。 ①出席 50点 ②ミュージシャンスキル 10点 ③パフォーマンス 10点 ④コミュニケーション 10点 ⑤準備 10点 ⑥サウンド 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	課題曲Unit7のアンサンブル。80年代以降のFUNK楽曲を学ぶ。	Unit7の復習。FUNKの名曲を調べる
2		講義・演習	課題曲Unit7のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	Unit7の予習。FUNKの重要な要素となるリズムを分析する。次回の課題曲の予習をする。
3		講義・演習	課題曲Unit8のアンサンブル。80年代以降のFUNK楽曲を学ぶ。	Unit8の復習。ルーツとなるジャンルを検証する
4		講義・演習	課題曲Unit8のアンサンブル。演奏面での問題点、課題点を修正しパフォーマンスする。	次回卒業制作展の課題曲の予習をする。
5		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。
6		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。
7		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う。パフォーマンスも意識して取り組む。	課題曲の練習。授業で気づいた課題点を克服するための練習を繰り返す。
8		講義・演習	卒業制作展の楽曲に取り組み、リハーサルを行う。パフォーマンスも意識して取り組む。	次回Unit9の課題曲の予習
9		講義・演習	課題曲Unit9のアンサンブル。卒業制作展課題曲とは異なる楽曲に取り組む。	Unit9の復習。FUNKのリズム、グルーヴの大切さを理解するためしっかり練習する。
10		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展データ取り12/19に向けて練習する
11		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展課題曲の練習(演奏、パフォーマンス)
12		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	卒業制作展課題曲の練習(演奏、パフォーマンス)
13		講義・演習	卒業制作展のリハーサルを行う。	発表会での演奏について検証し、問題点を克服するべく練習につなげる。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			課題曲の音源、スコア、歌詞を確認して、授業前に個人練習しておく。FUNK曲を視聴し、分析する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	R&B Ensemble (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	前田逸平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	様々なアーティストのサポート、レコーディング、楽曲アレンジに加え、白井裕紀との作家ユニットYippeeとしても活動中。						
授業の学習 内容	現代の音楽シーンへも多大な影響がある、R&B,Soul,Motownなど主にブラックミュージックを中心に選曲。実際にアンサンブルしながら、演奏スキル、パフォーマンス力、演奏時のコミュニケーションを磨いていきます。2週続きで同じ曲を取り組むことで楽曲や、互いのパートへの理解を深め、演奏をブラッシュアップしていく感覚を養います。						
到達目標	バンド形態での歌唱や演奏力を高める。 ヴォーカル、バンドが一体となってサウンドを作っていく感覚を体感する。 アンサンブルへ向けての準備、練習の大切さを学ぶ。 人前でのパフォーマンスの経験値を上げていく。						
評価方法と基準	個人毎の成長度を元に、以下の項目を基準として採点を行います。 1. 出席 50点 2. 歌唱、演奏スキル 20点 3. パフォーマンス 10点 4. コミュニケーション 10点 5. 準備 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	R&Bアンサンブルについての概要説明。 Unit0課題曲のアンサンブルを実践。	授業で学んだ内容について復習。Unit1楽曲の予習。
2		講義・演習	Unit1:サザンソウルスタイルのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
3		講義・演習	Unit1:サザンソウルスタイルのアンサンブル	Unit1楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit2楽曲の予習。
4		講義・演習	Unit2:Motownスタイルのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
5		講義・演習	Unit2:Motownスタイルのアンサンブル	Unit2楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit3楽曲の予習。
6		講義・演習	Unit3:デュエットソングのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
7		講義・演習	Unit3:デュエットソングのアンサンブル	Unit3楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit4楽曲の予習。
8		講義・演習	Unit4:セッションなどでも定番曲のアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
9		講義・演習	Unit4:セッションなどでも定番曲のアンサンブル	Unit4楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit5楽曲の予習。
10		講義・演習	Unit5:80'sバラードのアンサンブル	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週に向けて練習する。
11		講義・演習	Unit5:80'sバラードのアンサンブル	Unit5楽曲について達成出来たこと、引き続き課題なことを発見する。Unit6楽曲の予習。
12		講義・演習	中間発表に参加し、チームでの制作準備や練習に取り組む。	ミーティング、セット図や歌割り表等の制作資料を作成する。バンドや発表曲の練習をする。
13		講義・演習	中間発表で本番経験を積む。	バンドや発表曲の練習をした上で本番出演できるよう体調管理を含めた自己管理の大切さを学び、本番後の振り返りをして事後の成長につなげる。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲の音源、歌詞、譜面資料(Teamsにて共有)				

科目名	R&B Ensemble (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	前田逸平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	様々なアーティストのサポート、レコーディング、楽曲アレンジに加え、白井裕紀との作家ユニットYippeeとしても活動中。						
授業の学習 内容	現代の音楽シーンへも多大な影響がある、R&B,Soul,Motownなど主にブラックミュージックを中心に選曲。実際にアンサンブルしながら、演奏スキル、パフォーマンス力、演奏時のコミュニケーションを磨いていきます。2週続きで同じ曲を取り組むことで楽曲や、互いのパートへの理解を深め、演奏をブラッシュアップしていく感覚を養います。						
到達目標	バンド形態での歌唱や演奏力を高める。 ヴォーカル、バンドが一体となってサウンドを作っていく感覚を体感する。 アンサンブルへ向けての準備、練習の大切さを学ぶ。 人前でのパフォーマンスの経験値を上げていく。						
評価方法と基準	個人毎の成長度を元に、以下の項目を基準として採点を行います。 1. 出席 50点 2. 歌唱、演奏スキル 20点 3. パフォーマンス 10点 4. コミュニケーション 10点 5. 準備 10点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	中間発表に向けてのリハーサル、練習を行う。	ミーティング、セット図や歌割り表等の制作資料を作成する。バンドや発表曲の練習をする。
2		講義・演習	中間発表に参加し、本番経験を積む。	バンドや発表曲の練習をした上で本番出演できるよう体調管理を含めた自己管理の大切さを学ぶ。本番後の振り返りをして事後の成長につなげる。
3		講義・演習	WeAreの楽曲(1)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週 に向けて練習する。
4		講義・演習	WeAreの楽曲(1)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	WeAre楽曲(1)について達成出来たこと、引き続き 課題なことを発見する。次週楽曲の予習。
5		講義・演習	WeAreの楽曲(2)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	授業を経ての個々の課題を明確にして、次週 に向けて練習する。
6		講義・演習	WeAreの楽曲(2)(フル尺)でのアンサンブルを 実践する。	WeAre楽曲(2)について達成出来たこと、引き続き課題な ことを発見する。Voオーディションに向け準備。
7		講義・演習	WeAre楽曲、ボーカルオーディションを行う。	自分の担当曲以外も歌唱、演奏できるように 準備しておく。
8		講義・演習	Motownメドレー、曲サイズ、アレンジの確認。	1曲あたりが短いので、各曲のイメージをより はっきりと掴んでおく。
9		講義・演習	Motownメドレー、曲間、転換の確認。	メドレー内での転換がスムーズにいくように、音作りや立 ち位置、マイクの受け渡しなど明確にしておく。
10		講義・演習	Motownメドレー、振り付け、衣装など本番準備 の確認。 Motownメドレー、通しRHを行う。	実際のアーティスト達の映像や写真を見て、 動きや立ち姿、衣装の研究をする。
11		講義・演習	X'masソングのアンサンブルを実践する。 Motownメドレー、通しRHを行う。	実際に通してみでの改善点などを発見し、ブ ラッシュアップする。次週曲の予習。
12		講義・演習	卒業・進級制作に参加し、チームでの制作準 備や練習に取り組む。	X'masヒットソングのレパートリーを増やす。
13		講義・演習	卒業・進級制作で本番経験を積む。	衣装、転換など含めた最終RH。良いイメージを固めて本 番に向けて各々仕上げ&体調管理を徹底する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
課題曲の音源、歌詞、譜面資料(Teamsにて共有)				

科目名	Vocal Recording(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	近藤章裕
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	日本を代表するゴスペルグループTHE SOULMATICのメンバーとして活動中。シンガーとして様々なアーティストのライブで共演、レコーディングサポートを行っている。						
授業の学習 内容	マーケティング4.0の先進ネット社会において、音源を遠隔で制作し高いクオリティを作る必要があることを理解し、シンガーとして自立してレコーディングを行い、高いプロダクトクオリティを生み出す為に行われる授業。レコーディングに関する必要なスキルを体得し知識を習得するための、『学び→実践→体感→振り返り→気づき→学び』このサイクルの実現。						
到達目標	レコーディングにおいて高いプロダクトクオリティを生み出すレベルを理解、体感すること。						
評価方法と基準	準筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	チーム構成、基礎知識、キックオフ	基礎知識復習
2		講義・演習	REC体験	基礎知識復習
3		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習
4		講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
5		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
6		講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
7		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
8		講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
9		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
10		講義・演習	REC実施	基礎知識復習&振り返り
11		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	基礎知識復習&振り返り
12		講義・演習	本番REC	実践
13		講義・演習	本番REC	実践
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Vocal Recording(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	近藤章裕
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	日本を代表するゴスペルグループTHE SOULMATICsのメンバーとして活動中。シンガーとして様々なアーティストのライブで共演、レコーディングサポートを行っている。						
授業の学習 内容	マーケティング4.0の先進ネット社会において、音源を遠隔で制作し高いクオリティを作る必要があることを理解し、シンガーとして自立してレコーディングを行い、高いプロダクトクオリティを生み出す為に行われる授業。レコーディングに関する必要なスキルを体得し知識を習得するための、『学び→実践→体感→振り返り→気づき→学び』このサイクルの実現						
到達目標	レコーディングにおいて高いプロダクトクオリティを生み出すレベルを理解、体感すること。						
評価方法と基準	準筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	本番RECリフレクション	本番RECセルフリフレクション
2		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
3		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
4		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
5		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
6		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
7		講義・演習	本番REC準備ミーティング	振り返り
8		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
9		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
10		講義・演習	REC実施、振り返りリフレクション	振り返り
11		講義・演習	本番REC	実践
12		講義・演習	本番REC	実践
13		講義・演習	本番REC	実践
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Inst Ensemble A (5) (Guitar Inst Ensemble Style(5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	城石真臣
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2011年にearthmindのメンバーとして「機動戦士ガンダムUC」の主題歌でメジャーデビュー。現在は様々なアーティストのレコーディングやライブサポート、専門学校の講師を務めている。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーヴ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーヴを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	InstEnsembleについての概要説明。プロミュージシャンに必要なスキル、取り組み方、心得を学ぶ。	テキストを読み返し、授業で学んだことをしっかり理解し、次の授業の準備をしておく。	
2		講義・演習	8ビートの楽曲を通してアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲の音源を聞き、譜面を見ながら練習する。	
3		講義・演習	3コード進行8ビートの楽曲を知り、アンサンブルを実践するための解説・練習。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
4		講義・演習	シャッフルビートでのアンサンブルを実践するための解説・練習。	シャッフルビートのアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
5		講義・演習	ブルース進行を理解し、シャッフルビートでのアンサンブルを実践するための解説・練習。	ブルース曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
6		講義・演習	シンコペーションについて、課題曲を通して理解するための解説・練習。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
7		講義・演習	レゲエリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践するための解説・練習。	レゲエ曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
8		講義・演習	6/8拍子のリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
9		講義・演習	マイナーブルース進行を理解し、よりファンキーにアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
10		講義・演習	16小節ブルースロックの課題曲でアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
11		講義・演習	ポピュラーロックの課題曲でアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
12		講義・演習	カントリーテイストのジャンプナンバーでアンサンブルを実践するための解説・練習、ボサノバの基本パターンを解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
13		講義・演習	2～12週で習った課題曲を復習。実技テスト及び前期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Inst Ensemble A (5) (Bass Inst Ensemble Style (5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	22歳でバンドデビュー。マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘と一諸に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーヴ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーヴを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	InstEnsembleについての概要説明。プロミュージシャンに必要なスキル、取り組み方、心得を学ぶ。	テキストを読み返し、授業で学んだことをしっかり理解し、次の授業の準備をしておく。
2		講義・演習	8ビートの楽曲を通してアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲の音源を聞き、譜面を見ながら練習する。
3		講義・演習	3コード進行8ビートの楽曲を知り、アンサンブルを実践するための解説・練習。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
4		講義・演習	シャッフルビートでのアンサンブルを実践するための解説・練習。	シャッフルビートのアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。
5		講義・演習	ブルース進行を理解し、シャッフルビートでのアンサンブルを実践するための解説・練習。	ブルース曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
6		講義・演習	シンコペーションについて、課題曲を通して理解するための解説・練習。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
7		講義・演習	レゲエリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践するための解説・練習。	レゲエ曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
8		講義・演習	6/8拍子のリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
9		講義・演習	マイナーブルース進行を理解し、よりファンキーにアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
10		講義・演習	16小節ブルースロックの課題曲でアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
11		講義・演習	ポピュラーロックの課題曲でアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
12		講義・演習	カントリーテイストのジャンプナンバーでアンサンブルを実践するための解説・練習、ボサノバの基本パターンを解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
13		講義・演習	2～12週で習った課題曲を復習。実技テスト及び前期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Inst Ensemble A (5) (Drum Inst Ensemble Style(5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小寺良太
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1997年よりバンド「メロディオンズ」のメンバーとして活動しながらサポートドラム、ドラムチューナーとしての活動を開始。バンド脱退後も様々なアーティストのサポート、レコーディング、ドラムテックとして活動中。2010年からは後進指導のため、ドラム講師も務める。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーヴ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーヴを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	InstEnsembleについての概要説明。プロミュージシャンに必要なスキル、取り組み方、心得を学ぶ。	テキストを読み返し、授業で学んだことをしっかり理解し、次の授業の準備をしておく。	
2		講義・演習	8ビートの楽曲を通してアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲の音源を聞き、譜面を見ながら練習する。	
3		講義・演習	3コード進行8ビートの楽曲を知り、アンサンブルを実践するための解説・練習。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
4		講義・演習	シャッフルビートでのアンサンブルを実践するための解説・練習。	シャッフルビートのアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
5		講義・演習	ブルース進行を理解し、シャッフルビートでのアンサンブルを実践するための解説・練習。	ブルース曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
6		講義・演習	シンコペーションについて、課題曲を通して理解するための解説・練習。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
7		講義・演習	レゲエリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践するための解説・練習。	レゲエ曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
8		講義・演習	6/8拍子のリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
9		講義・演習	マイナーブルース進行を理解し、よりファンキーにアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
10		講義・演習	16小節ブルースロックの課題曲でアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
11		講義・演習	ポピュラーロックの課題曲でアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
12		講義・演習	カントリーテイストのジャンプナンバーでアンサンブルを実践するための解説・練習、ボサノバの基本パターンを解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。	
13		講義・演習	2～12週で習った課題曲を復習。実技テスト及び前期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Inst Ensemble A (5) (Keyboard Inst Ensemble Style(5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	加藤絵礼 奈
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	レコーディング、ツアー、ライブなどでのサポートアーティストは近藤房之助、指田郁也、柴咲コウ、Miyavi(PVに出演)。シンガーソングライターとして加藤エレナBANDとしても活動中。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーヴ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーヴを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	InstEnsembleについての概要説明。プロミュージシャンに必要なスキル、取り組み方、心得を学ぶ。	テキストを読み返し、授業で学んだことをしっかり理解し、次の授業の準備をしておく。
2		講義・演習	8ビートの楽曲を通してアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲の音源を聞き、譜面を見ながら練習する。
3		講義・演習	3コード進行8ビートの楽曲を知り、アンサンブルを実践するための解説・練習。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
4		講義・演習	シャッフルビートでのアンサンブルを実践するための解説・練習。	シャッフルビートのアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。
5		講義・演習	ブルース進行を理解し、シャッフルビートでのアンサンブルを実践するための解説・練習。	ブルース曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
6		講義・演習	シンコペーションについて、課題曲を通して理解するための解説・練習。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
7		講義・演習	レゲエリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践するための解説・練習。	レゲエ曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
8		講義・演習	6/8拍子のリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
9		講義・演習	マイナーブルース進行を理解し、よりファンキーにアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
10		講義・演習	16小節ブルースロックの課題曲でアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
11		講義・演習	ポピュラーロックの課題曲でアンサンブルを実践するための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
12		講義・演習	カントリーテイストのジャンプナンバーでアンサンブルを実践するための解説・練習、ボサノバの基本パターンを解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
13		講義・演習	2～12週で習った課題曲を復習。実技テスト及び前期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Inst Ensemble A (6) (Guitar Inst Ensemble Style(6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	城石真臣
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2011年にearthmindのメンバーとして「機動戦士ガンダムUC」の主題歌でメジャーデビュー。現在は様々なアーティストのレコーディングやライブサポート、専門学校の講師を務めている。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーブ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーブを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
2		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
3		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
4		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
5		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
6		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
7		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
8		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
9		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
10		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
11		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
12		講義・演習	2～11週で習った課題曲の復習、後期の総まとめのアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Inst Ensemble A (6) (Bass Inst Ensemble Style(6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	22歳でバンドデビュー。マリーン、池田聡、サリナ・ジョーンズなど、数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。B'z 松本孝弘と一諸に数多くのレコーディングに参加。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーヴ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーヴを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
2		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
3		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
4		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
5		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
6		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
7		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
8		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
9		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
10		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
11		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
12		講義・演習	2～11週で習った課題曲の復習、後期の総まとめのアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Inst Ensemble A (6) (Drum Inst Ensemble Style(6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小寺良太
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1997年よりバンド「メロディオンズ」のメンバーとして活動しながらサポートドラム、ドラムチューナーとしての活動を開始。バンド脱退後も様々なアーティストのサポート、レコーディング、ドラムテックとして活動中。2010年からは後進指導のため、ドラム講師も務める。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーブ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーブを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
2		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
3		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
4		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
5		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
6		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
7		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
8		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
9		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
10		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
11		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
12		講義・演習	2～11週で習った課題曲の復習、後期の総まとめのアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Inst Ensemble A (6) (Keyboard Inst Ensemble Style(6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	加藤絵礼 奈
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	レコーディング、ツアー、ライブなどでのサポートアーティストは近藤房之助、指田郁也、柴咲コウ、Miyavi(PVに出演)。シンガーソングライターとして加藤エレナBANDとしても活動中。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーヴ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーヴを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
2		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
3		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
4		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
5		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
6		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
7		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
8		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
9		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
10		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
11		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行うための解説・練習。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
12		講義・演習	2～11週で習った課題曲の復習、後期の総まとめのアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Inst Ensemble B (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	"松原ミキ""北島健二""マリーン""池田聡""楠瀬清志郎""オズニー・メロ"等、その他数多くのアーティスト達の、ツアー&レコーディングミュージシャンとして40年以上活動する。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーヴ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーヴを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	InstEnsembleについての概要説明。プロミュージシャンに必要なスキル、取り組み方、心得を学ぶ。	テキストを読み返し、授業で学んだことをしっかり理解し、次の授業の準備をしておく。
2		講義・演習	8ビートの楽曲を通してアンサンブルを実践する。	課題曲の音源を聞き、譜面を見ながら練習する。
3		講義・演習	3コード進行8ビートの楽曲を知り、アンサンブルを実践する。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
4		講義・演習	シャッフルビートでのアンサンブルを実践する。	シャッフルビートのアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。
5		講義・演習	ブルース進行を理解し、シャッフルビートでのアンサンブルを実践する。	ブルース曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
6		講義・演習	シンコペーションについて、課題曲を通して理解する。	授業内容を復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
7		講義・演習	レゲエリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践する。	レゲエ曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
8		講義・演習	6/8拍子のリズムを学ぶ。課題曲のアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
9		講義・演習	マイナーブルース進行を理解し、よりファンキーにアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
10		講義・演習	16小節ブルースロックの課題曲でアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
11		講義・演習	ポピュラーロックの課題曲でアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
12		講義・演習	カントリーテイストのジャンプナンバーでアンサンブルを実践する。ボサノバの基本パターンをアンサンブルを通して習得する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。次週の楽曲を聞いておく。
13		講義・演習	2～12週で習った課題曲をさらに、前期の総まとめのアンサンブルを実践する。実技テスト及び前期内容の復習	1～12をまとめてレポート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Inst Ensemble B (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	遠藤敬三
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	"松原ミキ""北島健二""マリーン""池田聡""楠瀬清志郎""オズニー・メロ"等、その他数多くのアーティスト達の、ツアー&レコーディングミュージシャンとして40年以上活動する。						
授業の学習 内容	ヴォーカルなし、楽器パートのみでのアンサンブルを行っていく授業。週毎に変わる課題曲のアナライズをパート別で行い、個々の演奏力、バンドでのグルーヴ感、音量調整、サウンド作り、ジャンルによるリズムの違い、演奏することの楽しさを学び、インスト曲のレパトリーを持つことで将来、現場でセッションする機会があった際に活かせること、楽譜の読み書きや音楽理論を実践を通して理解する場とする。 後期では前期に比べてより現代のマーケットに近いジャンルに取り組む。						
到達目標	個々の演奏力やアンサンブル力のレベル向上、グルーヴを引き出すリズム感の向上、サウンドメイク、音量感を身に付けることを目標とする。						
評価方法と基準	実技による採点100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
2		講義・演習	FUNKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
3		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
4		講義・演習	ROCKの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
5		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
6		講義・演習	R&B/Soulの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
7		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
8		講義・演習	POPSの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
9		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
10		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
11		講義・演習	JAZZの名曲を課題曲とし、アンサンブルを行う。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
12		講義・演習	2～11週で習った課題曲をさらい、後期の総まとめのアンサンブルを実践する。	課題曲のアンサンブルについて復習し、課題曲の音源を聞き譜面を見ながら反復練習する。	
13		講義・演習	実技テスト及び後期内容の復習	1～13をまとめてレポート作成	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			担当楽器の様々なジャンルのスタイルについて理解を深め、アンサンブル曲の反復練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	Advanced Musician (5) (Advanced Guitar(5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	鳴海 賢治
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2006年以降ギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、1・2年次で習得した基本的な演奏技術・理論理解を基盤とし、演奏力・表現力・音楽的解釈力を高度に統合した“実践的ギタリスト”の育成を目的とする。ジャンルを横断した演奏、アドリブ、アレンジ、バンド内での役割理解などを通じて、現場で通用するレベルの演奏スキルと音楽性の確立を目指す。						
到達目標	楽曲に応じた適切な音作り・フレージングができる スケールやコードトーンを用いた実践的アドリブ演奏ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	自分の得意曲を1曲用意(1コーラス) 自分の課題(苦手なこと)を3つ書き出す
2		講義・演習	ピッキング & ニュアンス再構築	スケール1つ(例:ペンタ)で自由に弾く練習 自分の演奏を録音しておく
3		講義・演習	ダイナミクスと“間”	好きなギタリストの演奏を1つ分析 (どこで音が減るか／止まるか)
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	RockとPopの曲を1曲ずつ聴いて違いメモ コード進行を確認してくる
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	16分ストローク練習(ミュート多め) 簡単なファンク曲を聴く
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	7thコードを全ポジションで確認 R&B系ギター動画を見る
7		講義・演習	中間準備(課題曲制作)	中間課題曲をほぼ完成させる 録音して確認
8		講義・演習	中間発表	本番として仕上げてくる
9		講義・演習	アドリブ①(基礎構造)	ペンタ or メジャースケール復習 簡単なコード進行確認
10		講義・演習	アドリブ②(会話型)	短いフレーズを3つ作ってくる リズムバリエーション練習
11		講義・演習	アレンジ基礎	アレンジしたい曲を決める コード進行を書き出す
12		講義・演習	バンドアンサンブル	自分のパートを録音してくる 他パートを想像して演奏する
13		講義・演習	最終発表	本番用に仕上げる(録音でもOK) 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (5) (Advanced Bass(5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	山本 詠
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2016年以降ベーシストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、基礎技術を習得したベーシストを対象に、グルーヴ・アンサンブル・音楽的判断力に重点を置いた高度実践力を養う。 単なる演奏技術ではなく、“バンド全体を動かすベーシスト”になることを目標とする。						
到達目標	コード進行に基づいたライン構築ができる 他パートとの関係を意識した演奏判断ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	自分の得意フレーズを準備 ベースで意識していることを書き出す
2		講義・演習	タイム感とグルーヴ①	クリックに合わせて1音弾き続ける練習 自分のリズムのズレを確認
3		講義・演習	タイム感とグルーヴ②	休符を意識したフレーズ作成 ファンク系楽曲を聴く
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	ルート弾き曲を1曲コピー ドラムを聴く習慣をつける
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	右手ミュート練習 簡単なファンクラインをコピー
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	3度・7度を探す練習 ゆっくりラインを歌う
7		講義・演習	中間課題準備	自分の演奏を録音 改善点メモ
8		講義・演習	中間発表	本番状態まで仕上げる
9		講義・演習	ライン構築①(基礎)	簡単なコード進行を書き出す 自分でラインを作る
10		講義・演習	ライン構築②(発展)	自作フレーズを3つ作る 歌うように弾く練習
11		講義・演習	アレンジと役割理解	曲構造を理解する(A/B/サビ) ベースが変わる箇所を探す
12		講義・演習	バンドアンサンブル	他パートを意識して録音 音数を減らしてみる
13		講義・演習	最終発表	録音または本番準備 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (5) (Advanced Drum(5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	星山 哲也
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、misono、Libraian、つるの剛士、をはじめ様々なアーティストのライブ、レコーディング、テレビ出演に参加。□						
授業の学習 内容	本授業では、基礎演奏技術を習得したドラマーを対象に、タイム感・グルーヴ・アンサンブル構築能力の高度化を目指す。単なるパターン演奏ではなく、バンド全体をコントロールできるドラマーの育成を目的とする。						
到達目標	楽曲に応じて適切なビートを選択できる 他パートと連動した演奏判断ができる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&レベルチェック	得意パターンを1つ演奏準備 自分の強み・弱みを書き出す
2		講義・演習	タイム感トレーニング①	BPM固定で単純ビート継続練習 録音してズレを確認
3		講義・演習	タイム感トレーニング②	同じビートを前後ノリで叩き分け 好きなドラマーのノリ分析
4		講義・演習	ジャンル研究①(Rock / Pop)	ロック／ポップを聴き比べ 基本パターンを叩き分け
5		講義・演習	ジャンル研究②(Funk)	スネアの弱打練習 ファンクを聴いてノリを感じる
6		講義・演習	ジャンル研究③(R&B / Neo Soul)	音数を減らしたビート叩く R&B系ドラマーの研究
7		講義・演習	中間課題準備	曲を通して演奏できる状態にする 録音して確認
8		講義・演習	中間発表	本番レベルで準備
9		講義・演習	フィルイン構築①	2拍・1小節フィルを作る フィルばかり叩かない練習
10		講義・演習	フィルイン構築②	自作フィル3パターン 強弱をつける練習
11		講義・演習	楽曲構造とドラミング	曲構成を分析 セクションごとの叩き分け
12		講義・演習	アンサンブル実践	他パート意識で演奏 音を聴く練習(自分8:周り2→逆へ)
13		講義・演習	最終発表	本番想定で仕上げ 自己評価シート作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (6) (Advanced Guitar(6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	鳴海 賢治
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2006年以降ギタリストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、1・2年次で習得した基本的な演奏技術・理論理解を基盤とし、演奏力・表現力・音楽的解釈力を高度に統合した“実践的ギタリスト”の育成を目的とする。ジャンルを横断した演奏、アドリブ、アレンジ、バンド内での役割理解などを通じて、現場で通用するレベルの演奏スキルと音楽性の確立を目指す。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲+即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	トーンメイク(音作り)	使用機材整理 自分の音を録音して課題抽出
3		講義・演習	フレーズデザイン	自作フレーズ3つ作る 良いフレーズの分析
4		講義・演習	ジャンル融合	異なるジャンル2つ選び比較 ミックス案考える
5		講義・演習	アレンジ実践①	アレンジ対象曲決定 コード・構造分析
6		講義・演習	アレンジ実践②	アレンジを形にする 仮完成状態で持参
7		講義・演習	セッション対応①	基本コード進行復習 シンプル即興練習
8		講義・演習	セッション対応②	他パートを意識して練習 バックイング中心で練習
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (6) (Advanced Bass(6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	山本 詠
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	2016年以降ベーシストとして活躍						
授業の学習 内容	本授業では、基礎技術を習得したベーシストを対象に、 グルーヴ・アンサンブル・音楽的判断力に重点を置いた高度実践力を養う。 単なる演奏技術ではなく、 “バンド全体を動かすベーシスト”になることを目標とする。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲+即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	サウンドメイク	自分の音を録音 音の課題把握
3		講義・演習	ラインデザイン①	ルート中心ライン作成 不要な音削る練習
4		講義・演習	ラインデザイン②	フレーズ3つ自作 “歌える”ライン考える
5		講義・演習	アレンジ実践①	アレンジ対象曲決定 元ラインをコピー
6		講義・演習	アレンジ実践②	アレンジを形にする 仮完成状態で持参
7		講義・演習	セッション対応①	基本コード進行復習 シンブル即興練習
8		講義・演習	セッション対応②	ドラムを聴く グルーヴ練習
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Advanced Musician (6) (Advanced Drum(6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	星山 哲也
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	浜崎あゆみ、宇多田ヒカル、misono、Libraian、つるの剛士、をはじめ様々なアーティストのライブ、レコーディング、テレビ出演に参加。□						
授業の学習 内容	本授業では、基礎演奏技術を習得したドラマーを対象に、タイム感・グルーヴ・アンサンブル構築能力の高度化を目指す。単なるパターン演奏ではなく、バンド全体をコントロールできるドラマーの育成を目的とする。						
到達目標	セッション・現場で柔軟に対応できる アレンジ・制作に積極的に関われる						
評価方法と基準	授業内演奏:50% 中間発表:20% 最終発表:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス&現状確認	得意曲＋即興少し用意 「自分の強み／弱み」をまとめる
2		講義・演習	サウンドコントロール	タッチ意識練習 録音確認
3		講義・演習	フィルデザイン①	フィル3種作る
4		講義・演習	フィルデザイン②	強弱つきフィル練習
5		講義・演習	アレンジ実践①	対象曲のドラム譜 or 耳コピ 自分なりの別案1つ考える
6		講義・演習	アレンジ実践②	曲構成を書き出す 各セクションで叩き分け案
7		講義・演習	セッション対応①	シンプルビート大量反復
8		講義・演習	セッション対応②	他パートを意識
9		講義・演習	中間発表(アレンジ曲)	完成状態で仕上げる
10		講義・演習	ライブパフォーマンス①	動画撮影してくる 自分の動きをチェック
11		講義・演習	ライブパフォーマンス②	演奏曲を通して準備 本番意識で練習
12		講義・演習	最終準備(個別指導)	ほぼ完成状態にする 弱点の最終確認
13		講義・演習	最終発表(ライブ形式)	本番レベルで仕上げ 自己評価まとめ
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Movie Creation Basic (5) (Movie Creation Basic (5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	増田祐生
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	(株)ワタナベエンターテイメントでの新人開発・育成講師、(株)LDH JAPANでの新人開発・育成講師、ホリプロスタースクール育成講師を担当。傍ら、共同でアパレルECサイト運営、商材の撮影。クライアントワークではYouTuber、歌い手系YouTuberの動画制作、作曲・レコーディング、サウンドプロデュースを行う。						
授業の学習 内容	①急速に進む動画含むコンテンツ市場ではエンドユーザーのニーズに沿うことだけではなく新しい潜在ニーズを掘り起こし、制作者(アーティスト、クリエイター)自身が流行り(buzz)の源泉になる事も大切です。 ②自身の演奏技術の絶対的な質は大前提で、それらをより魅力的かつ効果的なビジュアル・デザイン・メッセージを込めてコンテンツ化するによりAIには出せない「自分らしさ」の価値が上がります。 ③テクニカルだけではなく、アイデア・デザイン・ブランディングを一緒に考えながら学んでいきましょう！						
到達目標	①Adobe Creative Cloud(Premiere Pro,Illustrator,Photoshop)を主に使用しながら、自分らしさに納得のいく動画作品(歌唱動画・演奏動画など)の制作・およびローンチをする。 ②リリック動画の制作(フォントの選び方・背景・アニメーション・Audioデータとのタイミングの合わせ方)が出来る。 ③YouTube投稿の際のサムネイル画の制作をする。(アスペクト比・色味・フォント・アテンションを引くデザイン) ④実写での効果的な撮影方法・画角の選定、LUT(色編集)の方法を学び・実践する。 ⑤ショート動画でのインパクトのあるパーソナルなアイデアをブレストする。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 出席数40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Premiere Proの基本操作が出来る。 自身の活動への価値を理解できる。	Youtubeなどで操作方法について動画学習
2		講義・演習	サンプル音源を使用して、音に合わせたカット編集プリセットのトランジションエフェクトを使った編集ができる。	興味のある動画メディアを作り手目線で視聴する
3		講義・演習	テキストの作成・フォントの選定ができる。 サンプル素材を使って簡単なMVが制作できる。	授業内で紹介したアーティストなどの映像作品をチェック
4		講義・演習	サンプル素材を使ってLUT(色編集)ができる。	授業内で紹介したアーティストなどの映像作品をチェック
5		講義・演習	講義1～4でインプットしたスキルを様々なサンプル素材を使って編集することができる。	作業フローの確認・復習
6		講義・演習	講義5で制作した作品を講師がディレクション。	興味のある動画メディアを作り手目線で視聴する
7		講義・演習	Illustratorを使用してインパクトのある動画タイトルを制作できる。	興味のある動画メディアを作り手目線で視聴する
8		講義・演習	Illustratorを使用して制作したPNGデータを動画に挿入することができる。	作業フローの確認・復習
9		講義・演習	Photoshopを使用して画像レタッチ、背景透過ができる。	Youtubeで目をひくサムネイルを探す。
10		講義・演習	講義7～9でインプットしたスキルを駆使してYouTubu仕様のサムネイル画を制作できる。	作業フローの確認・復習
11		講義・演習	Premiere Proでサンプル楽曲を使用して簡単なリリック動画が制作できる。	作業フローの確認・復習
12		講義・演習	個人制作のテーマ選定をし作業を開始できる。	興味のある動画メディアを作り手目線で視聴する
13		講義・演習	制作した作品の書き出しをしてアップロードできる。	作業フローの確認・復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Movie Creation Basic (5) (Movie Creation Basic (5))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小野田奨
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	主にMVやストリートダンス動画などを制作する動画クリエイターとして活躍。制作動画のジャンルは、Youtube動画、イベントや企業様のPR動画を行う。						
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション	課題制作
2		講義・演習	PremierePro基礎①	課題制作
3		講義・演習	PremierePro基礎②	課題制作
4		講義・演習	MV制作①	課題制作
5		講義・演習	MV制作②	課題制作
6		講義・演習	カメラの取り扱いについて①	課題制作
7		講義・演習	カメラの取り扱いについて②	課題制作
8		講義・演習	Youtube動画制作①	課題制作
9		講義・演習	Youtube動画制作②	課題制作
10		講義・演習	Youtube動画制作③	課題制作
11		講義・演習	課題制作①	課題制作
12		講義・演習	課題制作②	課題制作
13		講義・演習	課題制作③	課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業において提示する課題を各授業後に90分以上取り組むこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定教科書なし。必要に応じて資料を配付する。				

科目名	Movie Creation Basic (6) (Movie Creation Basic (6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	増田祐生
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	(株)ワタナベエンターテイメントでの新人開発・育成講師、(株)LDH JAPANでの新人開発・育成講師、ホリプロスタースクール育成講師を担当。傍ら、共同でアパレルECサイト運営、商材の撮影。クライアントワークではYouTuber、歌い手系YouTuberの動画制作、作曲・レコーディング、サウンドプロデュースを行う。						
授業の学習 内容	①急速に進む動画含むコンテンツ市場ではエンドユーザーのニーズに沿うことだけではなく新しい潜在ニーズを掘り起こし、制作者(アーティスト、クリエイター)自身が流行り(buzz)の源泉になる事も大切です。 ②自身の演奏技術の絶対的な質は大前提で、それらをより魅力的かつ効果的なビジュアル・デザイン・メッセージを込めてコンテンツ化するによりAIには出せない「自分らしさ」の価値が上がります。 ③テクニカルだけではなく、アイデア・デザイン・ブランディングを一緒に考えながら学んでいきましょう！						
到達目標	①Adobe Creative Cloud(Premiere Pro,Illustrator,Photoshop)を主に使用しながら、自分らしさに納得のいく動画作品(歌唱動画・演奏動画など)の制作・およびローンチをする。 ②リリック動画の制作(フォントの選び方・背景・アニメーション・Audioデータとのタイミングの合わせ方)が出来る。 ③YouTube投稿の際のサムネイル画の制作をする。(アスペクト比・色味・フォント・アテンションを引くデザイン) ④実写での効果的な撮影方法・画角の選定、LUT(色編集)の方法を学び・実践する。 ⑤ショート動画でのインパクトのあるパーソナルなアイデアをブレストする。						
評価方法と基準	1) 定期テスト60% 2) 出席数40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	実写のコンテンツ作りについてのガイダンス	前期の作業フローの復習
2		講義・演習	実写のコンテンツの描画方法についてパターンを学ぶ。また自分の方向性を決定する。	授業内で紹介したメディアを視聴する
3		講義・演習	講師のクライアント案件(Youtube歌い手)の素材を実際に編集作業ができる(Lyric Video)①	作り手目線で様々なメディアに触れる 審美眼を高める
4		講義・演習	講義4の制作した作品を発表する。 講師によるディレクション。	作り手目線で様々なメディアに触れる 審美眼を高める
5		講義・演習	講師のクライアント案件(Youtube歌い手)を素材を実際に編集作業ができる(実写)①	作業フローの確認・復習
6		講義・演習	講義5の制作した作品を発表する。 講師によるディレクション。	作業フローの確認・復習
7		講義・演習	Vintage Lookの作り方、Film grain、Dustなどのフリー素材をダウンロードして合成することできる。	自分のデバイスでも著作権フリーの 素材を探してみる
8		講義・演習	自由演習 ここまでで得たスキルを反復して 使ってみる 質疑応答など	作り手目線で様々なメディアに触れる 審美眼を高める
9		講義・演習	ムービーデータと別撮りのオーディオデータ の同期が出来る様になる。	作業フローの確認・復習
10		講義・演習	ダンス動画、楽器演奏動画によく見られる 【音ハメ】編集ができる。	音ハメ系の動画をYouTubeで探してみる。
11		講義・演習	個人制作のプロジェクト選定をする。	素材の準備
12		講義・演習	個人制作: 自身のプロジェクト制作 素材読み 込み、オーディオデータとの同期をする。	作品のインスピレーションを探す
13		講義・演習	個人制作の発表をする。	作業フローの確認・復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Movie Creation Basic (6) (Movie Creation Basic (6))	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小野田奨
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	主にMVやストリートダンス動画などを制作する動画クリエイターとして活躍。制作動画のジャンルは、Youtube動画、イベントや企業様のPR動画を行う。						
授業の学習 内容	映像制作を通して、撮影編集に関する基本的な知識・スキルを学ぶ						
到達目標	映像制作の基本的なテクニックを身に付け、 今後映像制作にかかわる際に役立てることができる						
評価方法と基準	課題 100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	前期の振り返り	課題制作
2		講義・演習	SNS動画	課題制作
3		講義・演習	SNS動画	課題制作
4		講義・演習	三脚・ジンバルの使い方	課題制作
5		講義・演習	画角について	課題制作
6		講義・演習	撮影実践	課題制作
7		講義・演習	Ae基礎	課題制作
8		講義・演習	AfterEffects + 実写①	課題制作
9		講義・演習	AfterEffects + 実写②	課題制作
10		講義・演習	AfterEffects + 実写③	課題制作
11		講義・演習	課題制作①	課題制作
12		講義・演習	課題制作②	課題制作
13		講義・演習	課題制作③	課題制作
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業において提示する課題を各授業後に90分以上取り組むこと	
【使用教科書・教材・参考書】				
指定教科書なし。必要に応じて資料を配付する。				

科目名	ソングライティングゼミ 3 (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	宇津本直 紀
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1994年、DEENにドラムス・コーラス担当として加入。多くの作曲を手掛け、脱退後も作曲・プロデュース活動を行う。						
授業の学習 内容	楽曲制作のプロセス、作曲理論と実践、作詞理論と実践、劇伴音楽の作曲と制作、クリエイティブの方法論、トータルプロデュースから見た楽曲の役割を学ぶ。 課題を随時提出して「楽曲デモ」のクオリティーの向上をはかる。						
到達目標	映画・アニメ・ドラマ・ゲームで使用され、メジャーリリースされるクオリティーの楽曲の作詞・作曲・編曲・デモ制作ができるだけの知識とスキルの修得。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れ	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れについて振り返りレポートをまとめる。
2		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割口	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割について振り返りレポートをまとめる。
3		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れ	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れについて振り返りレポートをまとめる。
4		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？について振り返りレポートをまとめる。
5		講義・演習	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ ベースラインとは？	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ベース ラインとは？について振り返りレポートをまとめる。
6		講義・演習	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音 について振り返りレポートをまとめる。
7		講義・演習	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの 構成音、およびテンション	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの構成音、および テンションについて振り返りレポートをまとめる。
8		講義・演習	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつくり方	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつくり方について 振り返りレポートをまとめる。
9		講義・演習	作曲理論⑤劇伴について	作曲理論⑤劇伴について振り返りレポートをまとめる。
10		講義・演習	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を 分析する方法を学びます。	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を 分析する方法について振り返りレポートをまとめる。
11		講義・演習	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 前週学んだ楽曲分析の方法をつかってみんなで実際に楽曲を分析してみま す。また、楽曲分析の課題を指示します。	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 楽曲分析の課題に対して、レポートをまとめる。
12		講義・演習	楽曲分析の個別指導	次回テストに向けたデモ楽曲の制作
13		講義・演習	定期テスト	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ソングライティングゼミ 3 (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	宇津本直 紀
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	1994年、DEENにドラムス・コーラス担当として加入。多くの作曲を手掛け、脱退後も作曲・プロデュース活動を行う。						
授業の学習 内容	楽曲制作のプロセス、作曲理論と実践、作詞理論と実践、劇伴音楽の作曲と制作、クリエイティブの方法論、トータルプロデュースから見た楽曲の役割を学ぶ。 課題を随時提出して「楽曲デモ」のクオリティーの向上をはかる。						
到達目標	映画・アニメ・ドラマ・ゲームで使用され、メジャーリリースされるクオリティーの楽曲の作詞・作曲・編曲・デモ制作ができるだけの知識とスキルの修得。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れ	作詞作曲概論、本ゼミの講義全体の流れについて振り返りレポートをまとめる。
2		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割口	作詞・作曲の目的と目標とプロセス① 日本の音楽業界における作詞作曲の役割について振り返りレポートをまとめる。
3		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れ	作詞・作曲の目的と目標とプロセス② 日本の音楽業界における作詞・作曲の実際の流れについて振り返りレポートをまとめる。
4		講義・演習	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？	作詞・作曲の目的と目標とプロセス③ 誰のために作詞・作曲をするのか？ について振り返りレポートをまとめる。
5		講義・演習	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ ベースラインとは？	作曲理論①コード・Keyとは？コードとは？ベース ラインとは？について振り返りレポートをまとめる。
6		講義・演習	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音	作曲理論②コード・基本的なコードの構成音 について振り返りレポートをまとめる。
7		講義・演習	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの 構成音、およびテンション	作曲理論③応用的なコード・特殊なコードの構成音、およ びテンションについて振り返りレポートをまとめる。
8		講義・演習	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつくり方	作曲理論④メロディーあるいはモチーフのつくり方について振り返りレポートをまとめる。
9		講義・演習	作曲理論⑤劇伴について	作曲理論⑤劇伴について振り返りレポートをまとめる。
10		講義・演習	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方法を学びます。	楽曲分析の方法 すべてのコードを「Ckey」に直して、相対的なコードとして楽曲を分析する方法について振り返りレポートをまとめる。
11		講義・演習	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 前週学んだ楽曲分析の方法をつかってみんなで実際に楽曲を分析してみます。また、楽曲分析の課題を指示します。	楽曲分析をみんなで実際にやってみる 楽曲分析の課題に対して、レポートをまとめる。
12		講義・演習	楽曲分析の個別指導	次回テストに向けたデモ楽曲の制作
13		講義・演習	楽曲分析の個別指導・作曲スキルのまとめ	楽曲分析の個別指導・作曲スキルのまとめについて振り返り、レポートをまとめる。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	作編曲法Basic 2 (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	藤井文司
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	音楽業界(J-POP)での多くのヒット曲と、プロデュース/アレンジの実績を持つ。						
授業の学習 内容	音楽理論を理解し、それぞれの理論に照らし合わせてたコード進行を構築しながらメロディーやアレンジの作成を行う。						
到達目標	音楽理論と作、編曲の関係を理解し楽曲制作時のスピードアップを測る。ファンデーション授業の理解をさらに深め、楽曲制作に活かせるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	編曲法の基本	編曲法の基本振り返りと自習。
2		講義・演習	ドラムパートのアレンジ	ドラムパートのアレンジ振り返りと自習。
3		講義・演習	ドラムパートのアレンジ課題の演習	ドラムパートのアレンジ課題の演習振り返りと自習。
4		講義・演習	ベースパートのアレンジ	ベースパートのアレンジ振り返りと自習。
5		講義・演習	ベースパートのアレンジ課題の演習	ベースパートのアレンジ課題の演習振り返りと自習。
6		講義・演習	コードの組み立と転回形について	コードの組み立と転回形について振り返りと自習。
7		講義・演習	コードの組み立と転回形課題の演習	コードの組み立と転回形課題の演習振り返りと自習。
8		講義・演習	キーボードパートのアレンジ	キーボードパートのアレンジ振り返りと自習。
9		講義・演習	キーボードパートの課題の演習	キーボードパートの課題の演習振り返りと自習。
10		講義・演習	スケール1メジャー	スケール1メジャー振り返りと自習。
11		講義・演習	スケール2マイナー	スケール2マイナー振り返りと自習。
12		講義・演習	アレンジリズムパート課題1	データの管理とポートフォリオ作成
13		講義・演習	アレンジインストゥルメント課題2	データの管理とポートフォリオ作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	作編曲法Basic 2 (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	藤井文司
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	音楽業界(J-POP)での多くのヒット曲と、プロデュース/アレンジの実績を持つ。						
授業の学習 内容	音楽理論を理解し、それぞれの理論に照らし合わせてたコード進行を構築しながらメロディーやアレンジの作成を行う。						
到達目標	音楽理論と作、編曲の関係を理解し楽曲制作時のスピードアップを測る。ファンデーション授業の理解をさらに深め、楽曲制作に活かせるようになる。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(筆記40% 実技60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ダイアトニックコードについて	ダイアトニックコードについて振り返りと自習。
2		講義・演習	モチーフとモチーフデベロップメントについて	モチーフとモチーフデベロップメントについて振り返りと自習。
3		講義・演習	ダイアトニックコードとメロディについて	ダイアトニックコードとメロディについて振り返りと自習。
4		講義・演習	ケーデンスについてについて	ケーデンスについてについて振り返りと自習。
5		講義・演習	ダイアトニックリハモニゼーションについて	ダイアトニックリハモニゼーションについて振り返りと自習。
6		講義・演習	セカンダリードミナントについて	セカンダリードミナントについて振り返りと自習。
7		講義・演習	エクステンデッドミナントについて	エクステンデッドミナントについて振り返りと自習。
8		講義・演習	サブファイブセブンについて	サブファイブセブンについて振り返りと自習。
9		講義・演習	その他のダイアトニックローレティッドについて	その他のダイアトニックローレティッドについて振り返りと自習。
10		講義・演習	マイナーキーハーモニーについて	マイナーキーハーモニーについて振り返りと自習。
11		講義・演習	ディミニッシュ7コードについて	ディミニッシュ7コードについて振り返りと自習。
12		講義・演習	アヴェイラブルノートスケールについて	アヴェイラブルノートスケールについて振り返りと自習。
13		講義・演習	課題曲提出	データの管理とポートフォリオ作成
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンスミュージックアナライズ 2 (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	横野康平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	E-girls、AAA、2PM、ジャニーズWEST、KAT-TUN、KARA、後藤真希、May J.、田村ゆかり等、多数の著名なアーティストに楽曲提供を行なっている作曲家、アレンジャー。2015年以降講師としても活躍。						
授業の学習 内容	①世界中に存在するダンスミュージックの技法を分析し各自技のレパートリーに取り入れコンペで目立つ楽曲を出せるようにするのが目的。②プリプロやセルフプロデュースと関連づけコンペ対策にする。③各ジャンルに収まらない作品作りに努めてもらいたい。④ビルボードランキングやBeatport、YouTubeなどから技法を見つけ出し作曲やマニピレート、トラックメイキングに必要なミックス技法を研究分析し実際にその技法を使ってコピーまたはオリジナルを作る。						
到達目標	学んだ技法を自由自在に各自の作品へ取り入れることが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) ※1コーラステストのクオリティ:70% 音色作りのクオリティ:30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	Electro House-ダンスミュージックの基本的なオートメーションなどを理解し使えるようになる事	Electro House-ダンスミュージックの基本的なオートメーションなどを理解し使えるようになる事 振り返りと自習。
2		講義・演習	Electro Pop-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる事	Electro Pop-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる事 振り返りと自習。
3		講義・演習	FrenchHouse-フィルターを多用したシーン展開が出来るようになる事	FrenchHouse-フィルターを多用したシーン展開が出来るようになる事 振り返りと自習。
4		講義・演習	Complexro House-音色又はフレーズのコーラージュで楽曲を制作出来るようになる事	Complexro House-音色又はフレーズのコーラージュで楽曲を制作出来るようになる事 振り返りと自習。
5		講義・演習	Drum&Bass-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	Drum&Bass-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
6		講義・演習	DubStep-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	DubStep-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
7		講義・演習	OldSchoolHipHop-用意したサンプルを使い制作出来るようになる	OldSchoolHipHop-用意したサンプルを使い制作出来るようになる 振り返りと自習。
8		講義・演習	DirtyTrap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	DirtyTrap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
9		講義・演習	DeepTrap又はChill Trap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	DeepTrap又はChill Trap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
10		講義・演習	GlitchHop-スイングしたビートを作れるようになる	GlitchHop-スイングしたビートを作れるようになる 振り返りと自習。
11		講義・演習	2step-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	2step-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
12		講義・演習	TropicalHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	TropicalHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り返りと自習。
13		講義・演習	学んだ事を使って①コーラス制作を約180分完了させる事	
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ダンスミュージックアナライズ 2 (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	横野康平
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	E-girls、AAA、2PM、ジャニーズWEST、KAT-TUN、KARA、後藤真希、May J.、田村ゆかり等、多数の著名なアーティストに楽曲提供を行なっている作曲家、アレンジャー。2015年以降講師としても活躍。						
授業の学習 内容	①世界中に存在するダンスミュージックの技法を分析し各自技のレパートリーに取り入れコンペで目立つ楽曲を出せるようにするのが目的。②プリプロやセルフプロデュースと関連づけコンペ対策にする。③各ジャンルに収まらない作品作りに努めてもらいたい。④ビルボードランキングやBeatport、YouTubeなどから技法を見つけ出し作曲やマニピレート、トラックメイキングに必要なミックス技法を研究分析し実際にその技法を使ってコピーまたはオリジナルを作る。						
到達目標	学んだ技法を自由自在に各自の作品へ取り入れることが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) ※1コーラステストのクオリティ:70% 音色作りのクオリティ:30%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		講義・演習	FutureHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	FutureHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り回りと自習	
2		講義・演習	Kawaii bass-kawaii音をふんだんに使い解説を元に実施に作ってみる	Kawaii bass-kawaii音をふんだんに使い解説を元に実施に作ってみる 振り回りと自習	
3		講義・演習	Future bass-切ないコード進行の分析を行った後Dropで使われている手法を習得する	Future bass-切ないコード進行の分析を行った後Dropで使われている手法を習得する 振り回りと自習	
4		講義・演習	Wave(フレイク)の習得 変化する8dマフイドなベースなど分析し参考曲を元に作ってみる	Wave(フレイク)の習得 変化する8dマフイドなベースなど分析し参考曲を元に作ってみる 振り回りと自習	
5		講義・演習	Lofisound-LofiHipHopなどに使われる手法を習得し作品をつくってみる	Lofisound-LofiHipHopなどに使われる手法を習得し作品をつくってみる 振り回りと自習	
6		講義・演習	EuroBteat-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	EuroBteat-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り回りと自習	
7		講義・演習	TropicalHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる	TropicalHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる 振り回りと自習	
8		講義・演習	2000年代初期RnB。参考曲を分析し実際作ってみる	2000年代初期RnB。参考曲を分析し実際作ってみる 振り回りと自習	
9		講義・演習	ElectroSwing-BigBandSampleなどをサンプリングし説明を参考にし実際に作ってみる	ElectroSwing-BigBandSampleなどをサンプリングし説明を参考にし実際に作ってみる 振り回りと自習	
10		講義・演習	ElectroJazz-Antomaneなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる	ElectroJazz-Antomaneなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる 振り回りと自習	
11		講義・演習	ElectroJazz-FKJなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる	ElectroJazz-FKJなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる 振り回りと自習	
12		講義・演習	2019年Billboard Ranking top30内の楽曲と分析と技術の習得	2019年Billboard Ranking top30内の楽曲と分析と技術の習得 振り回りと自習	
13		講義・演習	後期で学んだ事を使って1コーラスdemoを180分で完了させる		
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	シンセサイジング&DTM Advance 2 (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿瀬文彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	作曲家、マニピュレーター、ギタリスト。2010年プロデューサー佐久間正英に見い出されエレクトロニカ・ユニットCojokでデビュー。現在はCMや映画音楽に携わり2020年最新作はボカリスエットCM「ボカリNEO合唱 ドキュメンタリー完全版」音楽担当。サンレコ誌では製品レビュー執筆も多数手がける。						
授業の学習 内容	1.複数のDAWを使いサウンド構築でのレベルの高い技法を身につける。 2.業界標準音源パッケージNative Instruments社 KOMplete 12 ULTIMATE収録の音源&シンセの使い方をマスター。 3.クリエイターとしての楽曲のミキシング・テクニックを身につける。						
到達目標	学習したテクニックを取り入れ、楽曲にインパクト、力強さ、説得力を与え、多くの人の耳に届くサウンドになる。クリエイターとして作曲からミックスまでの仕事を受けれるようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) * 楽曲(30秒ほど)のクオリティ: 70% ミキシングのバランス : 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	講師制作の楽曲プロジェクトを公開し音源やシンセをどのように使ってるか解説。	左記振り返りと復習
2		講義・演習	シンセ、プラグインのオートメーション・テクニック	シンセ、プラグインのオートメーション・テクニック。振り返りと自習。
3		講義・演習	ディレイ、リバーブの効果的な使い方	ディレイ、リバーブの効果的な使い方。振り返りと自習
4		講義・演習	アルペジエーターを使用したシンセフレーズの組み立て	アルペジエーターを使用したシンセフレーズの組み立て。振り返りと自習。
5		講義・演習	MASSIVE Xの仕組みを学ぶ	NI MASSIVE Xの仕組みを学ぶ。振り返りと自習
6		講義・演習	MASSIVE Xで目的の音色を作れるようにする	MASSIVE Xで目的の音色を作れるようにする。振り返りと自習。
7		講義・演習	RK-01でエレクトロニックなベースとリズムを組み立てる	RK-01でエレクトロニックなベースとリズムを組み立てる。振り返りと自習。
8		講義・演習	STRUMMED ACOUSTIC 2を使ったアコギの打ち込み	STRUMMED ACOUSTIC 2を使ったアコギの打ち込み。振り返りと自習。
9		講義・演習	ELECTRIC SUNBURSTを使ったエレキギターの打ち込み	ELECTRIC SUNBURSTを使ったエレキギターの打ち込み。振り返りと自習。
10		講義・演習	SESSION STRINGS PRO 2を使ったストリングスの打ち込み	SESSION STRINGS PRO 2を使ったストリングスの打ち込み。振り返りと自習。
11		講義・演習	RISE & HITを使用し楽曲にリバース音とアタック音を加えて楽曲にインパクトを与える	RISE & HITを使用し楽曲にリバース音とアタック音を加えて楽曲にインパクトを与える。振り返りと自習
12		講義・演習	EVOLVEのループを使用しエレクトロニックなリズムの構築	EVOLVEのループを使用しエレクトロニックなリズムの構築。振り返りと自習。
13		講義・演習	講師が用意するデータを元に曲の構築	試験対策・復習
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	シンセサイジング&DTM Advance 2 (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	阿瀬文彦
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	作曲家、マニピュレーター、ギタリスト。2010年プロデューサー佐久間正英に見い出されエレクトロニカ・ユニットCojokでデビュー。現在はCMや映画音楽に携わり2020年最新作はボカリスエットCM「ボカリNEO合唱 ドキュメンタリー完全版」音楽担当。サンレコ誌では製品レビュー執筆も多数手がける。						
授業の学習 内容	1.複数のDAWを使いサウンド構築でのレベルの高い技法を身につける。 2.業界標準音源パッケージNative Instruments社 KOMplete 12 ULTIMATE収録の音源&シンセの使い方をマスター。 3.クリエイターとしての楽曲のミキシング・テクニックを身につける。						
到達目標	学習したテクニックを取り入れ、楽曲にインパクト、力強さ、説得力を与え、多くの人の耳に届くサウンドになる。クリエイターとして作曲からミックスまでの仕事を受けれるようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(実技試験:100%) * 楽曲(30秒ほど)のクオリティ: 70% ミキシングのバランス : 30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	EMOTIVE STRINGSを使用したストリングスのレガート・フレーズの打ち込み	EMOTIVE STRINGSを使用したストリングスのレガート・フレーズの打ち込み。振り返りと自習。
2		講義・演習	ACTION STRINGSとキースイッチを組み合わせたストリングス・パターン組み立て	ACTION STRINGSとキースイッチを組み合わせたストリングス・パターン組み立て。振り返りと自習。
3		講義・演習	DAMAGEで映画音楽のような迫力あるリズムを構築	DAMAGEで映画音楽のような迫力あるリズムを構築。振り返りと自習。
4		講義・演習	シネマティック音源THRILLを使用したSE制作	THRILLを使用したSE制作。振り返りと自習。
5		講義・演習	音源ではなく生ドラム素材(講師が用意)の処理を学ぶ	音源ではなく生ドラム素材(講師が用意)の処理を学ぶ。振り返りと自習。
6		講義・演習	オーケストラ音源SYMPHONY ESSENTIALSを学ぶ1	SYMPHONY ESSENTIALSを学ぶ1。振り返りと自習。
7		講義・演習	オーケストラ音源SYMPHONY ESSENTIALSを学ぶ2	SYMPHONY ESSENTIALSを学ぶ2。振り返りと自習。
8		講義・演習	映像音楽を制作する際のDAWやシンセの使い方を学ぶ	映像音楽を制作する際のDAWやシンセの使い方を学ぶ。振り返りと自習。
9		講義・演習	クリエイターとして必要なミックス・テクニックを学ぶ	クリエイターとして必要なミックス・テクニックを学ぶ。振り返りと自習。
10		講義・演習	クリエイターとしてデモ提出で大切なマスタリングを学ぶ	クリエイターとしてデモ提出で大切なマスタリングを学ぶ。振り返りと自習。
11		講義・演習	各DAWの音質を聞き比べて特性を理解する	自作楽曲のパラデータ(全てオーディオで)があれば持参してください
12		講義・演習	講師が用意するデータを元に曲の構築	試験対策・復習
13		講義・演習	シンセサイジングで身につけた技術を活用して1コーラスのインスト音源を作成して提出	シンセサイジングで身につけた技術を活用して1コーラスのインスト音源を作成について。振り返りと自習。
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	劇伴音楽制作ゼミ(5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	RUI
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	主に短編映画、ゲーム、コンテンツなど楽曲提供を中心に活動する。アーティストの楽曲の編曲なども手掛ける。						
授業の学習 内容	映画、CM、ゲーム業界の中に求められている音楽スキルを身につけ、様々な音楽ジャンルの知識と感性を磨き、在校中により完成度の高い作品を作るのが目標です。 前期は、作曲編曲技法、様々な音楽ジャンルの基本知識を中心に、後期は映画、CMなどコンテンツに合わせて実践する方針で行います。						
到達目標	・歌物と異なる作曲編曲技法の全般、打ち込みのコツからミックスまで、一人作業の最低限必要なスキルを身につける。・文字や物から生み出すイメージで、感情移入させる曲を作る。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(課題曲提出70% 筆記30%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	劇伴概論	小テスト(採点しない)
2		講義・演習	モード作曲法 I	8-16小節の課題
3		講義・演習	メロディー作り方	講義の内容を理解し、曲を分析する
4		講義・演習	オブリガート	オブリガートの重要性和役割を理解し、応用できるように
5		講義・演習	モード作曲法 II	モード作曲法Iの課題をリメイク
6		講義・演習	アンビエント音楽	選曲課題
7		講義・演習	ホラー系音楽	選曲課題
8		講義・演習	リハーモナイズ	課題提出
9		講義・演習	変奏作曲技法	課題提出
10		講義・演習	対位法(基礎編) I	プリント復習
11		講義・演習	対位法(基礎編) II	課題提出
12		講義・演習	弦楽アレンジ I	プリント復習
13		講義・演習	弦楽アレンジ II	課題提出
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント(授業内容の順番を変える可能性があります)。				

科目名	劇伴音楽制作ゼミ(6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	RUI
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	主に短編映画、ゲーム、コンテンツなど楽曲提供を中心に活動する。アーティストの楽曲の編曲なども手掛ける。						
授業の学習 内容	映画、CM、ゲーム業界の中に求められている音楽スキルを身につけ、様々な音楽ジャンルの知識と感性を磨き、在校中により完成度の高い作品を作るのが目標です。 前期は、作曲編曲技法、様々な音楽ジャンルの基本知識を中心に、後期は映画、CMなどコンテンツに合わせて実践する方針で行います。						
到達目標	・歌物と異なる作曲編曲技法の全般、打ち込みのコツからミックスまで、一人作業の最低限必要なスキルを身につける。・文字や物から生み出すイメージで、感情移入させる曲を作る。						
評価方法と基準	1) 定期テスト(課題曲提出70% 筆記30%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ブルース	課題提出
2		講義・演習	ゲーム音楽	選曲課題
3		講義・演習	オーケストレーション作曲技法実技	プリント復習
4		講義・演習	ゲームオーケストレーション	課題提出
5		講義・演習	CM、コンテンツ音楽制作	映像素材を基にした劇伴作品を提出
6		講義・演習	ジングル、サウンドロゴ	課題提出(自由)
7		講義・演習	映画音楽制作Ⅰ	選曲課題
8		講義・演習	映画音楽制作Ⅱ	課題提出
9		講義・演習	標題音楽	プリント復習
10		講義・演習	カルテットⅠ or ドラマCD制作Ⅰ	特別講義。生徒の意向で内容を決める
11		講義・演習	カルテットⅡ or ドラマCD制作Ⅱ	デモ提出
12		講義・演習	カルテットⅢ or ドラマCD制作Ⅲ	レコーディング / アルバム制作
13		講義・演習	課題発表	感想、学んだこと
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント(授業内容の順番を変える可能性があります)				

科目名	Gospel Ensemble (5)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	池末 信
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	1991年以降、ゴスペルグループ「THE SOULMATICS」の代表として数々のアーティストのレコーディングやツアーに参加。作編曲家・ボイストレーナーとしても幅広く活動。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。□						
評価方法と基準	筆記又は実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	説明、NLPワーク、新曲2曲レクチャー	課題曲予習
2		講義・演習	メディテーションワーク、2曲復習、新曲1曲	楽曲復習、学びの振り返り
3		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、1曲パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り
4		講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		講義・演習	楽曲復習、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
6		講義・演習	3曲新曲、選択理論ワーク	楽曲復習、学びの振り返り
7		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
8		講義・演習	3曲復習、新曲1曲、クラス内パフォーマンス	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
9		講義・演習	プレイフルワーク、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
11		講義・演習	楽曲復習、新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
12		講義・演習	楽曲復習、ケティワーク	楽曲復習、学びの振り返り
13		講義・演習	新曲レクチャー	楽曲復習、学びの振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Gospel Ensemble (6)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	池末 信
学科・専攻	音楽テクノロジー科3年制 昼間部一	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	1991年以降、ゴスペルグループ「THE SOULMATICS」の代表として数々のアーティストのレコーディングやツアーに参加。作編曲家・ボイストレーナーとしても幅広く活動。						
授業の学習 内容	世界を代表するミュージシャンの多くが基盤に置く、ニグロスピリチュアル(黒人霊歌)のコンテンポラリーゴスペル(近代的なゴスペル)を中心に、オーセンティック(本格的)なゴスペルのサウンドを作る為の声、歌、グループ、リズム、パフォーマンス、表現、心その全てからグローバル基準で学ぶ。 また、選択理論、NLP(神経言語プログラミング)、プレイフルラーニング・シンキング、GRIT、メディテーションなどのワークを実践し、学ぶ上での精神衛生を整えること、学ぶ上での環境を全員でデザインすること、仲間を思いやり相乗効果を高める最大のWIN-WINを仲間との関係に産むこと、ワクワクすることなどを学び得る。						
到達目標	「上記学習内容が自分にとってプラスに働く」「上記内容が自分自身を自由にさせる」「この学びの先に本物になれる」それらを体感し信じれること。						
評価方法と基準	筆記又は実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	選択理論ワーク、新曲3曲レクチャー	前期の振り返り
2		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
3		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
4		講義・演習	新曲2曲レクチャー、パフォーマンスレクチャー	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
5		講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
6		講義・演習	ケイティワーク、2曲新曲	楽曲復習、学びの振り返り、動き復習
7		講義・演習	楽曲復習、動き復習	楽曲復習、学びの振り返り
8		講義・演習	楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
9		講義・演習	新曲2曲レクチャー、楽曲復習	楽曲復習、学びの振り返り
10		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
11		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
12		講義・演習	We Are!ハーサル演習	楽曲復習、学びの振り返り
13		講義・演習	総復習	楽曲復習、学びの振り返り
14		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	実習・イベントを通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				